あかね

第六十二号　令和六年

京一中洛北高校同窓会誌

会費納入のご協力をお願いいたします

同窓会は会員の皆さまの会費によって下記の活動を行っています。
現在、会員の約9割が未納です！　このままでは同窓会の運営・維持が非常に難しくなります。
何とぞ会費（2,000円/年～）のご納入をお願いいたします。

同窓会の主な活動

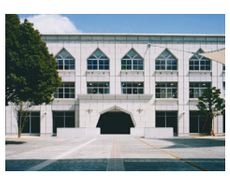
- 会員情報の維持管理
- 学年同窓会などの案内状・宛名印刷ほか各種サポート
- 『あかね』の発行・発送

- ホームページの作成・管理

kyo1c-rakuhoku.com

- 本部総会の開催

- 母校への支援



- 資料の保管・活用

- ほか同窓会の円滑な運営に必要な活動

納入方法

1. 郵便局（ゆうちょ銀行）から
   宛名台紙下の払込票をご使用ください
   01050-4-1043

2. 銀行振り込みは京都銀行下鴨支店
   普通預金 **19950**　京一中洛北高校同窓会 理事長　山川富士夫

3. **カード決済**なら
   右のQRコードから ▶▶▶

年　数	会　費
❶ 単年度（令和6年度分）	2,000円
❷ 3年前納（令和6～8年度分）	5,500円
❸ 5年前納（令和6～10年度分）	9,000円

※上記番号を払込票にご記入ください
郵便局（ゆうちょ銀行）の場合、振込手数料は同窓会事務局で負担しますので不要です。

※ 令和３年以降の卒業生には卒業時に４年分の会費を前納いただいています。
令和２年以前の卒業生は本年度分から納入ご協力をお願いします。

第71回 同窓会総会

日時　2024年 **11月30日(土)**
- 総　会／午後４時～（午後3時30分受付開始）
  主な議案：同窓会会則の改定ほか
- 講演会／午後５時00分～
- 懇親会／午後６時10分～

会場　**からすま京都ホテル(四条烏丸下ル)**

講演　**「落語家の道～師匠と私～」**

講師
桂　ちょうばさん（大倉正裕：洛46）
落語家。米朝事務所所属。来年３月、四代目桂米之助を襲名予定。

懇親会費
8,000円（当日受付にて）

☆洛北70期から73期までの会員（令和3年3月卒業～6年3月卒業）は **4,000円**

※出欠については同封ハガキで11月15日(金)までにお知らせください。

同窓会だからできるサポート！

案内状・宛名※印刷をお手伝いします。
学年・クラス・（Ⅰ類～Ⅲ類など）コース別、部活OBOG会、
地域… 同窓会を開きませんか？　※同窓会最新データによる

名札作製、校歌CDの貸出し、案内状やパンフレット用の画像提供なども可能です。お気軽にご相談ください。

あかね

第62号

巻頭言　芸事と趣味　●会長／髙坂節三（洛北４期）……3
あかねに想う　●特別顧問／川口浩文（校長）……3
第70回　同窓会総会 ルポ　コロナ禍、記念式典・祝宴を経て4年ぶり
ウクライナを想う講演やクイズを一堂に会して……4
第70回総会 講演記録　「ウクライナ戦争について思うこと」●加藤幹雄（洛北５期）……5
特集　京一中アナザーストーリーズⅡ ～入学すれども卒業せず～……8
学年会・クラス会だより　洛北高校編……11
支部だより　北海道支部／東北支部／関東支部／東海支部……16
部活OBOG会だより　バスケットボール部OBOG会／京一中・洛北高 あかねゴルフ会
北山の会（京都一中・鴨沂高校・洛北高校山岳部OB会）……18
新聞局 局友会／硬式野球部OB会
会員著書紹介……21
恩師を偲んで……22
同窓生が発信～東西南北「夢のつづき…」……25
▼集う・学ぶ・味わう……24　▼令和５年度会計報告書……39
▼母校だより……29　▼令和５年度周年記念事業会計報告書……40
▼あかねの窓……37　▼本部だより（定例理事会報告）……41
▼資料提供のお願い……38　▼祝歌・校歌……47

題字「あかね」揮毫　表千家十二代　久田宗也（京一中昭和17年卒）

COVER 表紙

星野秀太郎
洛北 23 期

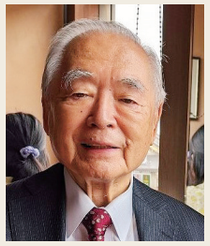
木の椅子はまさに自然からの贈り物。上高地の深遠な森のなかに置かれた秀太郎工房のロッキングチェアーの佇まいは、私が青春代を過ごした京都の歴史と雅な美的価値観が反映されたものと感じています。体がやさしく包みこまれるような座り心地は、工房の長い椅子製作の経験値から生み出されました。工房開設40周年の今年、ロッキングチェアーがそのデザイン性と共にゆったりとくつろげる心地よさを評価され、京都柊家さんの特別室に採用されたことで、自分自身と京都そして洛北高校との御縁を改めて深く心に感じています。

【作家略歴】東京都出身。信州大学工学部に在学中、松本の職人文化に触れ同大学を中退して、ギター製作、民芸家具工房、建築等の修業を経て1984年、家具工房を設立。幅広いオーダー家具をこなしつつ、オリジナルの木の椅子を制作開始する。2009年安曇野にショールーム併設の住居兼工房を自ら設計し、次男達彦と共に若い世代にも支持を広げるべく制作活動中。

巻頭言

芸事と趣味

会長　髙坂節三（洛北４期）



3月1日、母校の卒業式に招かれ、厳かさの中に明日への希望溢れる卒業生の晴れ姿を、久しぶりに見せてもらいました。新・同窓会員でもあるその姿に、改めて70年以上を数える洛北高校の歴史を実感し、「あかね」を読んでくれる皆さんの幅の広さを感じずにはいられませんでした。

私は在学中勉強に力が入らず、全国高校第3位と強かったバスケットボールに熱を上げるとともに、週末には川端丸太町の日本棋院京都本部に足を運び、囲碁の勉強に励みました。バスケットボールはその後、ニューヨークのマジソン・スクエアガーデンで素晴らしいプレイを観ましたし、アメリカンフットボールも何回か観戦しました。ブラジルではサッカーの熱狂ぶりに驚きました。観戦を通じて友達もできました。海外で現地の人たちに近づくにはスポーツの話題が必須のようです。囲碁は、昨年京都大学囲碁部が全国制覇した折、部員の何人かと会食したところ、その中に洛北高出身の女性メンバーがおられ、話が盛り上がりました。

この春、国立京都博物館で開かれた「雪舟伝説」の展覧会では、雪舟が描いたと伝えられる「琴棋書画図屏風」が重要美術品として展示されていました。「琴棋書画」とは琴・囲碁・書道・絵画の四つの芸事のことで、中国で古くから知識人の心得と考えられていたものです。

学業はそこそこにバスケットボールや囲碁に興じていた青春時代が、70年を過ぎた今も懐かしく、私の人生を豊かにしてくれたことに感謝しています。

（下鴨神社崇敬会 理事）

あかねに想う

特別顧問　川口浩文

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大な御理解と御支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨夏、コンサートホールから学校に帰る途中、比叡の山まで見通す街が全てあかね色に染まっている光景に出会いました。声が漏れるほどの幻想的な光景でした。多くの同窓の方々がこの光景に出会ってきたのだろうかと思いつつ、画家であり詩人であった故村山槐多氏の詩「一本のガランス」を想起しました。京一中百五十周年記念誌『われら自由の学び舎に育ち』の冒頭に掲載されてもいた詩です。

ためらふな、恥ぢるな／まつすぐにゆけ、／汝のガランス※のチューブをとつて／
汝のパレットに直角に突き出し／まつすぐにしぼれ……　（※茜色）

何かを振り払って全身で進まんとする若きエネルギーの放出を感じ、「直角に」「まっすぐに」の語に、あかね色の町を堂々と歩いて行く彼の姿を夢想します。一方、この詩は次のように閉じゆきます。

……／ためらふな、恥ぢるな／まつすぐにゆけ、／
汝の貧乏を／一本のガランスにて塗りかくせ

塗り隠さねばならぬ「貧乏」と呼んだ実体を問うことにあまり意味を感じません。若きが故の負を抱きつつも、恥じることを超えて真っ直ぐに行かんとする気概こそを、ガランス（あかね色）に見ます。そして翻って、本校で学ぶ生徒達に、今を豊かに生き、志と情熱を持って、その先の世界に大きく羽ばたいて欲しいと願う次第です。

（京都府立洛北高等学校・附属中学校校長）

コロナ禍、記念式典・祝宴を経て4年ぶり ウクライナを想う講演やクイズを一堂に会して

令和5年11月25日（土）、からすま京都ホテルにて、第70回同窓会総会を開催しました。コロナ禍による中止や「京一中150周年・洛北高校70周年」の記念式典・祝宴との同時開催を経て、単独総会としては4年ぶり。参加者はウクライナ侵攻についての時事的で意義深い講演に耳を傾け、洛北39期によるイントロクイズなどに参加、歓談・交流を楽しみました。

総会は髙坂会長の挨拶に始まり、特別顧問の洛北高校・附属中学校の川口校長がスポーツ・勉学共に頑張る在校生の活躍ぶりを伝えられた。続いて河原敏明常任理事が、今回は会場の都合で議事を行わず、事前に各会員宛に届けた同窓会誌『あかね』第61号掲載の報告事項を承認する形で行うことを説明し、会務・会計・予算および名簿管理システムの改修など12議案の報告事項が承認された。また京一中洛北クラブをはじめ同窓会活動に携わり、先の周年事業では実行副委員長を務めた若林卯兵衛氏（洛北10期）の訃報にふれ、当会への長年の尽力に対して感謝の言葉が述べられた。

講演は、洛北5期でロシア料理店「キエフ」のオーナー、加藤幹雄氏が登壇。「ウクライナ戦争について思うこと」と題してロシアのウクライナ侵攻について話され、ウクライナの歴史や戦争を取り巻く国際情勢、さらに両国への思いと見解に、出席者一同聴き入った。（講演記録は5－7頁）

懇親会は出席者の最年長と最年少、2期の西村淳暉さんと50期の鍛治ちかさんによる乾杯の音頭で始まり、懐かしいヒット曲による景品付きイントロクイズにテーブル対抗で挑戦。また各自が「今年の漢字」を投票し、その結果「同窓会の今年の漢字」は「虎」に決定した。三島康之理事長による「来年もぜひ」との言葉で、久々の同窓の宴はお開きとなった。

ウクライナ戦争について思うこと

講師　加藤　幹雄（洛北5期）

京都の祇園で「キエフ」という店をやっている関係で、この戦争の去就については日々心を傷めている一人として、私自身の感想をお話ししたいと思います。

私の店は1972年に亡父が創業して51年になります。父は戦前旧満洲のハルピンでロシア語を学び、ロシア文化に親しみ、戦後の東京で「スンガリー」というロシア料理店を開業しました。「スンガリー」とはハルピンを流れる巨大な河の愛称です。京都出身の父は故郷に錦を飾りたいと「スンガリー」の京都店をつくろうと思ったのですが、開店の前年、1971年に京都市とウクライナの首都キエフ市とが姉妹都市の提携をしました。父が京都市からの進言もあり、店名を「キエフ」にしたと聞いております。

今まで何度もキエフを訪れましたが、京都と同じように古都で山紫水明の景観の素晴らしい所です。今は戦争の真っ只中で、毎日のように空襲警報が鳴るということですが、ロシアが世界遺産にもなっている名所旧跡を爆撃しやしないかと日々心配しています。

ウクライナとはどういう国か

ウクライナの面積は日本の1・6倍ですが、日本と違って国土全体が非常にフラットで世界有数の穀倉地帯です。私が最初にウクライナという地名を知ったのも、母校の社会科で「肥沃な大地に恵まれている小麦の産地」としてでした。人口は2021年当時で4159万人ですが、今は沢山の避難民が国外に出ていますので約3100万人と聞いています。人種構成はウクライナ人が78％、ロシア人が17％、その他が5％となっていますが、地域によって差があって最南部のクリミア半島ではウクライナ人が24％でロシア人が56％になっています。西へ行くほどウクライナ人の比率が上がり、東や南へ行くほどロシア人の比率が上がるという、単一民族では考えられないような多様な人種分布となっています。言語について店のロシア人スタッフに聞いたところ「ウクライナ語はわかるのですが話せません」とのことでした。ウクライナ語もロシア語もスラブ語でキリル文字を使うのですが、違う言葉なのですね。また厄介なのはウクライナ人はウクライナ語を話す、ロシア人はロシア語を話すと

［プロフィール］
1938年旧満州国ハルピン生まれ。一橋大学経済学部卒業。1961年住友金属工業入社。ニューヨーク所長を経て同社副社長。退任後、2004年からレストラン「キエフ」の経営に携わる。

いうわけではないことです。ロシア語を日常語にしているウクライナ人がおよそ4割といわれ、例えばゼレンスキー大統領はユダヤ系ウクライナ人ですが南部の出身で彼の日常語はロシア語です。このように人種構成や言葉の問題など、ウクライナは理解しにくい国であることがわかると思います。

ウクライナの1人当たりのGDPは2022年で4600ドル、一方ロシアは15000ドルと、約3倍です。その理由は1991年にソ連が解体してウクライナが誕生した時の混乱状態から、経済の再建がうまくいかなかったからです。一方ロシアは2000年にプーチンが権限を掌握し、その強力な指導力によって経済の再建を果たしました。また石油価格の高騰という幸運もあって、大きな差がついてしまったわけです。これだけ見ると、ウクライナはインドネシアやエジプトと同程度の世界の最貧国ということになります。また国の隅々にまで汚職が蔓延している汚職大国であるともいわれています。

キエフ店内を飾るウクライナの風景画

国としてのウクライナの歩み

ウクライナの歴史は9世紀のキエフ公国に始まります。988年にウラジミール大公がビザンチン帝国（後のトルコ）からキリスト教を受容し、これが地域の文化の基礎となって発展します。ところが13世紀にモンゴル軍が侵攻してきて、中心がキエフから北部のモスクワに移るのです。その意味では当時のキエフが京都、モスクワは東京に当たるかもしれません。その後、16、17世紀にコサックと呼ばれる人たちが活躍します。彼らは民族ではなく地主の圧政を逃れた自由農民の集団です。コサックの頭目フメリニツキーが、当時ポーランドに占領されていた地域を戦いで解放して国をつくります。その過程でロシアと同盟を組んで国づくりをするのです。このコサックが活躍した時代のことは、国歌に歌われるほどウクライナ人は非常に誇りに思っているようです。

その後、ロシア革命の後、ソ連の一構成国となるのですが、1932年から33年にかけて、ソ連のスターリンが社会主義建設のために、ウクライナの農村から強制的に穀物を徴発し、数百万人の農民が餓死したという、悲惨な「ホロドモール事件」が起こります。私がキエフで聞いた話では、親が亡くなった自分の子供の肉を食べるということまであったとかで、慄然とした思いがしたものです。

そんな歴史からロシアは信用できないというDNAが、ウクライナ人に刷り込まれたのかもしれません。

その後第二次世界大戦でナチスドイツがソ連に侵攻した折、ウクライナの中にはナチスドイツを大歓迎したり、ナチスドイツに参加して戦ったりした人々がいたそうです。プーチンが「ウクライナにはナチズムの残党がいる」と言う根拠はこのあたりにあるのではと思います。大戦後で一つ後々に禍根を残すことになったのは、1954年、フルシチョフ時代にクリミア半島の管轄権をロシアからウクライナに移管したことです。

そして1991年にソ連が崩壊して、文字通り国際的に初めて承認された独立国としてウクライナが誕生します。

戦争の始まりと国際情勢

ウクライナは経済の再建に非常に手こずります。その打開策を求めてEUに加盟しようと連合協定に仮調印するのですが、親ロ派大統領のヤヌコービッチはその交渉の延期を表明し、それに怒った民衆による「マイダン革命」という暴動が起きます。ヤヌコービッチは失脚して亡命します。その混乱に乗じてプーチンはクリミア半島を接収し、東部では親ロ派とウクライナ軍との紛争が始まります。9年前のこの時に、実質的にウクライナ戦争が始まっていると言う人もいます。次の大統領ポロシェンコは、EU加盟と並行してNATO加盟に動きだし、プーチンの強い反発を買います。2019年5月、ポロシェンコに代わって、41歳のゼレンスキーが大統領に就任します。

2022年2月24日、突然ロシアはキエフ北部と東南部からウクライナへの侵攻を開始しました。ゼレンスキー大統領は大統領府から自撮り映像を全世界に流して「私は断固として戦う。ロシア軍を追い出すまで皆で戦おうじゃないか」と演説し、ウクライナは一致団結して戦うことになりました。この時のゼレンスキーの演説はウクライナ側の士気を高める印象深いものでした。私はプーチンがどのような理屈を述べようとも、主権国家に一方的に武力で侵攻したロシアの暴挙を許すことができません。

実はこの戦争には、アメリカのスタンスが大きな意味を持っています。アメリカはロシア軍が侵攻する予兆を知っていたにもかかわらず、戦争を止める努力をしませんでした。ウクライナをNATOに加盟させないと表明していたらプーチンの侵攻を思いとどまらせることができたでしょうが、それをしなかった。また開戦後、ウクライナに西欧、日本も合わせて数十兆円という巨額の軍事的・財政

的援助を行いますが、その約半分はアメリカが拠出しています。戦争の結果としてエネルギー価格が暴騰し、世界一の産油国であるアメリカは利益を享受し、軍事産業は空前の利益を上げています。オースティン国防長官は「この戦争はロシアの弱体化を促すことができ、米国の国益にかなう」と語っています。この戦争の受益者であり鍵を握っているのは実はアメリカなのです。

この戦争をやめるには

侵攻を始めた時、プーチンは早くて3日でゼレンスキー政権が崩壊すると見ていましたが、戦争が始まって21カ月になります。ウクライナ軍は徹底的に抵抗し、2023年6月から反転攻勢を始めています。いずれにしろ双方が多大の犠牲を払い、最近の発表ではロシアとウクライナを合わせて50万人の兵士が死傷したとのことです。日本の自衛隊員は陸・海・空で22万人とのことですから、自衛隊二つ分を越える部隊がこの戦争で消滅したことになる、すさまじい戦争です。ウクライナの民間人の死者は推計1万人、負傷者は数万人、そして女性と子供の数百万人が海外に脱出しています。ロシアは占領地域の子供数十万人を連れ去って洗脳教育をし、ウクライナではインフラが徹底的に破壊され、15万軒の住宅が破壊されたとのことです。こんな状態が続けばこの国は崩壊するのではと心配しています。その後、反転攻勢も奏功せず戦線は膠着、まさに分岐点に来ています。ゼレンスキーに、ロシアが占拠している東南部の地域を諦めなさい、と言っても了解しないと思います。プーチンに元へ返しなさいと言っても承諾しないと思います。講和交渉ではなかなか話がつかないでしょう。

ではこの戦争をやめるにはどうするか。講和条件の交渉は後回しにして、まず鉄砲、武器を置いて戦争をやめる。やめた後、海外にいる避難民が故国に帰ってきた状態で、国連などの第三者が入って、占領地の住民の意向を聞いてその帰属を決めていく。時間がかかるかもしれませんが、そんなステップが必要かもしれません。このような方法で戦争が終わった過去の例は、朝鮮戦争でした。1953年に米軍主体の国連軍と北朝鮮が停戦の決断をするのですが、その後の交渉が進まず、一時的に休戦したまま70年たっています。それでも私はとにかく殺戮をやめて良かったと思っています。

ロシアも苦闘していて膨大な数の兵士が死傷して、少なからぬ厭戦気分が国中に広がっているとのことです。この10月にグルジアで加藤登紀子のコンサートがあって、私の娘が同行したのですが、ロシアと折り合いの悪いグルジアにもロシアの若者が兵役逃れのために驚くほどたくさん入国していたそうです。

ウクライナとロシアの関係は、兄弟であるかどうかは別にして「折り合いの良くない親戚」であることは間違いありません。その点で今のイスラエルとパレスチナのハマスの関係とは違います。ですから両者が話し合えば、停戦への道は開けるのではないかと思っています。そしてその仲介の鍵を握っているのはアメリカだと思います。

日本が取り組むべきことは何か

最後に日本として何ができるかということですが、この戦争の結果としてエネルギーと食料の価格が高騰し、我々の日常生活にも影響を及ぼしかねない状況になっています。従って構造改革、なかでもエネルギーと食料の自給率を上げることに国家としてもっと本気で取り組むべきではないか、というのが私の結論です。

日本の2021年度の総発電量は、火力73％、再生可能エネルギー20％、原子力7％です。再生可能エネルギーの内訳は太陽光8％、水力8％、バイオ3％。風力1％など、となっていますが、もっと太陽光に力を入れるべきだと思っています。ドイツでは2021年の再生可能エネルギーの比率が既に43％で、2035年に100％を目指しているとのことです。また食料は、我々の世代は実際に飢餓を経験しましたが、これからも決して楽観できない。日本の食料は足りなくなると思います。今の自給率はカロリーベースでは38％ですが、肥料とか農薬に使う原料、農機具を動かす燃料を含めると、わずか18パーセントです。国産の食料を増やすには農業従事者を増やすしかありません。現在およそ152万人と聞いています。今のままでは若者は農業をしたいとは思わないでしょう。エネルギーと食料の自給率をどうやって上げるか。これを国の課題として本気で取り組むことが重要だと思っています。

雑駁な話でしたが、最後に改めてゼレンスキーを応援したいと思っています。45歳のこの若い大統領に期待したいのは、戦争遂行ではなくてウクライナの再建、とくに汚職退治の立役者になってくれることです。

ウクライナに一日も早く平和が到来することを願いまして話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

（2023年11月25日　からすま京都ホテルにて）

※本文中の情報は講演当時のものです。

特集

京一中 アナザー ストーリーズⅡ

～入学すれども卒業せず～

第二次大戦後の京都、下鴨。威風堂々たる校舎、厳しくも魅力あふれる教師や先輩、優秀な同級生…憧れの「京一中生」として心わきたつ青春を送っていた生徒たちは、思いがけなく昭和22年４月に始まる学制改革に遭遇する。翌年、京一中が廃止。彼らは強制転校を余儀なくされ京一中生として卒業することはなかったのである。 困惑、怒り…そして無念。その想いは60年をへて学年同窓会※の副題に掲げられる。「入学すれども卒業せず」と。

今号では、戦後の学制改革によって大きな転換を迫られた、昭和19年から21年入学の先輩たちの物語を、同窓会に残る当事者の寄稿からたどります。

※京一中昭和19年４月入学同期会
（平成28年12月８日、京都タワーホテル）

京都第一中学校3年2組（昭和23年）

㈠ 楽しかった学びの日々

平成７年に刊行された昭和19年入学の京一中生による寄稿文集『回顧五十年』や、今号と同じテーマを特集した『あかね』第50号に寄せられた文章には、京一中に付される形容詞として「憧れの」「伝統校」「名だたる名門校」「誇りある」といった言葉が見られる。ある人は「何より息子を京一中に入れたことについて何度も褒められたと母が言っていたことを思い出す」と記し、「京都で第一の中学校で学べるという喜びと誇りと期待の入り混じった気持ちが体中にみなぎり、意気盛んであった。（略）京一中の校舎は校門を入ると威風堂々と美しかったし、教室の雰囲気もピーンと張り詰めた授業が多かった。そうした授業を支える先生方もえり抜きぞろいで信頼できた。先輩達の指導も伝統に沿った適切なものであった」と続けている。「思えば、一中時代は天真爛漫の時代であった。戦時の物資不足は在ったが、空腹の中にも、早朝から広い校庭を走り回り、古いテニスボールでのサッカー、寒稽古の柔道の厳しさ、（略）先生を殆ど渾名で呼んだが、夫々に、そのひたむきな教壇での姿勢に、何らかの尊敬の念を持っていたように思う」といった記述もある。学び舎であった下鴨の校舎については「厳粛で美しい」とたたえられ、何気なく話される言葉に学びがあった「立派な」教師、切磋琢磨し合える「優秀な」同級生にまつわる思い出が、京一中の充実した学生生活をしのばせる。

㈡ 〝うらみの〟学制改革

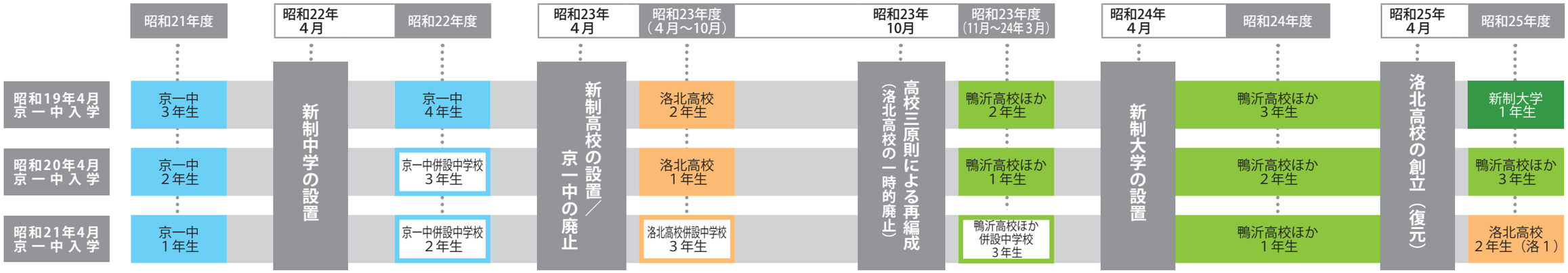
そうした学生生活を送っていた京一中生を、突如として戦後の学制改革が襲うことになる。第二次大戦後、米国による「教育の民主化」の勧告を受けたわが国政府は、教育勅語に基づく明治以来の教育理念と制度を根本的に改革し、新たな国民教育の具体的方策として昭和22年３月31日に教育基本法と学校教育法を制定、現在の六・三・三・四制へと移行していく。これによって一部の優秀な者に特権的に教育が施された旧制中学から「あらゆる青少年に機会均等に教育を施す」新たな中等教育へと方向転換されることとなったのである。

当時京一中３年生だった昭和19年入学の京一中生は、京一中生の最終学年となるべき23年には京一中が廃止となり、新制の洛北高校２年生となった。そして洛北高校の一時的な廃止によって同年11月には多くが鴨沂高校へ移動し、25年３月同校を卒業したのである。また20年入学生は同じ敷地内の京一中併設中学校３年生となり翌年は洛北高校１年生となったが、これも同年11月に鴨沂高校など他の高校の１年生となったのである。この時期の生徒たちの変転は激しく、なかには同じ年に改称のみも含めて５回の転校を余儀なくされた生徒もいた。当時の京都では、ＧＨＱの京都軍政部教育課長ケーズを、巷間「いけーず（意地悪）」と呼んでいたという話があるが、生徒たちの境遇を考えれば無理もないことである。

㈢ 巻き込まれた生徒たち

10代なかばにして教育施策の激動の渦に巻き込まれた生徒たちの思いはどのようなものであったか。「何より残念だったのは折角親しくなりかけていたエリート意識をもった友人たちとわかれ、ちりぢりになったことである」との思いは、きっと多くの生徒が抱いたことだろう。多感な青年

［ 学制改革による京一中生の変遷図 ］



前期に受けた影響は大きかったことが察せられる。当時から50年たっても「振り返ってみれば、私共ほど、国家社会から大きな『いじめ』を受けた年代は無いのではなかろうか」との思いや、なかには寄稿の案内を受けて当時を思い起こし「昔、学制改革で京一中を去る時、グランドや、プールに机や椅子を放り込んで、ファイヤーストームをやり、その炎の中に、自分が一緒に放り込まれ、ジリジリと焼かれている幻影を夢見たりしました」と綴った人もある。混乱の状況は、例えば昭和23年10月の併設中学校では「1学年600人を超える人数だったためか、1組から12組までをアイウエオ順で仕分けられたため、同じクラスに同姓の生徒や読みが同じでも漢字名が異なる生徒が多く、また普通科と商業科、男子校と女子校の出身生徒たちが入り乱れ」といった記述からも、混乱した様子が伝わってくる。

㈣ 初めての男女共学

初めての男女共学（昭和23年）

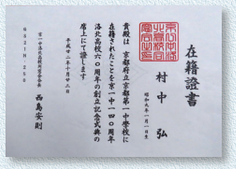
昭和23年3月31日、旧制中学は廃止となり、この時をもって京一中（京都府立京都第一中学校）は名実ともに消滅することになる。新しく設置されたのが、新制高校つまり京都府立洛北高等学校である。そして同年10月には「男女共学・総合制・小学区制」のいわゆる高校三原則による再編成が行われ、洛北高等学校はいったん廃止。洛北高校生だった元京一中19年・20年入学の生徒たちは、鴨沂高校をはじめとする市内のいくつかの高校に転入させられた。

新制の洛北高校生の数カ月間は男女別学、新制高校生となった10月からは「初めての」男女共学となるわけであるが、そこは若者、困惑というより楽しい日々として記憶している人も多いようだ。「我々は意識の改革に迫られましたが、たまたま軟式テニスをやっていた事から、他の同級生諸君より早くに女生徒とも馴染む事が出来、奇しくも、男女共学の尖兵となった」と、男女のグループ旅行にまつわる思い出が綴られたりしている。また男女別学だった数カ月間は校舎が足りないため、府立第一女学校（府一：後の鴨沂）の同じ机を、午前と午後に分かれて共用していたのだが、21年入学生は「府一の校舎で京一中と府一が二部授業をしたことが、学制混乱の青春の思い出となり、同時に「最後の学年」の共通意識を持つ、両校同窓会の世話人から合同同窓会開催の提案があった」と、「府一21・一中21合同同窓会」のきっかけを明かしている。集まりは回を重ね、平成28年には入学70周年を記念した第8回が開かれている。

㈤ 60年後の「卒業証書」

結果として一部の生徒を除き、昭和19年、20年21年入学の京一中生は、学制改革のために京一中生としての卒業証書を授与されることはなかった。その無念の思いにこたえるべく、平成22（2010）年に行われた京一中140周年・洛北高校60周年の記念式典において、希望者に京一中在籍証書が授与されることになった。証書は当時の同窓会長で元京都大学総長の西島安則名で発行された。

京一中在籍証書の授与



受け取られた京一中の先輩方からは「京一中生としての区切りがついた」との声が聞かれたという。

第二次世界大戦から戦後にかけて、憧れの京一中に入学し、個性あふれる教師に多くを学び、優秀な学友たちと刺激を与え合いながら過ごしていた京一中生たちを突如として襲った学制改革。当時の日本、そして母校の歴史を振り返る時「入学すれども卒業せず」という一文に込められた先輩たちの深い思いを、我々同窓生はこれからも記憶にとどめたい。

※文中引用箇所の表記は原文のまま

引用資料　（1）『回顧五十年～京一中学窓に寄せる』
昭和19年入学　京一中同期会在京世話人会
（1995年発行）
（2）「あかね」第50号「一中と洛北の間で…」
（平成24年刊）
（3）京一中記念誌「むかし京都の一中生」京一中
洛北高校同窓会
（2018年刊）
参考資料　「新制高校の誕生－京都における戦後教育改革の一齣－」
川口靖夫（府立嵯峨野高校研究紀要第16号　平成26年度）
学制改革による京一中生の変遷図（原図提供）　川口靖夫

学年会・クラス会だより

洛五会京浜地区懇親会

洛北5期

久しぶりの集いで旧交を温める

洛北5期卒業生は「洛五会」として2年に一度、京都で同窓会を開催しています。「洛五会京浜地区懇親会」は関東をはじめ、京都から離れた所に住む人たちが始めたいわば「洛五会」の地方版です。

今回の「懇親会」は2020年10月に開催する予定でしたが、新型コロナの流行により延期を余儀なくされ、ようやく2023年10月30日(月)、「学士会館」での開催にこぎつけました。

当日は好天に恵まれ、予定していた22人全員が定刻に集いました。棚橋ヒデ子さんの司会で会が始まり、物故者の冥福を祈って黙とう、内田伶子さんが物故者に捧げる歌「メモリー」を独唱しました。続いて関西から出席された近藤康夫さんが京都での洛五生の活動状況を紹介、西村一三さんの乾杯の発声で宴が始まりました。

久しぶりの再会で話題は尽きず、和やかな雰囲気の中、洛北高校校歌を斉唱してお開きとなりました。

次回は2024年秋の開催を予定しています。

（世話人代表
安部勲夫）

洛七会

洛北7期

85歳を迎えた同窓会「洛七会」開催

令和6年5月20日、新緑の美しい宝ヶ池、国立京都国際会館で、第17回洛七会を開催しました。会場は、第13回「喜寿の会」以来、毎回開催している洛七会お気に入りの場所、今回で5回目です。

卒業時は11クラスで541人だった同期生も物故者161人、住所不明は81人となりましたが、出席者は約70人、「スワンの間」で会食、気分はすぐに高校時代に戻り、思い出話で盛り上がり、おいしい食事を楽しみました。比叡山が間近に見え、緑滴る庭園で歓談、写真を撮り、2次会会場「グリル」へ席を移しました。

今回から前回アンケートで希望された140人にのみ案内状を出すことになりましたが、辞退された方も、いつでも参加可能ですので、クラス幹事にご連絡ください。

次回幹事も決まり、洛七会はまだまだ続ける気持ち十分です！

先に旅立たれたなつかしい友に思いを馳せ、今回元気で楽しく集えたことに感謝し、次回また元気で再会できることを願って散会しました。

総務担当監事　吉田美智子

洛北高校第八回卒「はちの会」

洛北8期

次回は2年後の令和「はち」年に

14年ぶりに「**はちの会**」の同窓会を、6月6日(木)正午からホテル日航プリンセス京都にて開催しました。卒業65周年、どれだけの出席者が集まるかと心配しましたが、お陰様で55人(1人同伴者)もの多くの仲間が集いました。当初戸惑いもありましたが、遥か65年前の記憶が徐々に甦り、各テーブルから感激の情景が繰り広がりました。

小嶋政紀さんの司会で109人の物故者に黙祷を捧げました。世話人代表真野光長さんの挨拶に続き、「出席者また今回残念にも出席できなかった仲間の今後のご健勝を祈って、乾杯!」と西村龍雄さんによる発声。

宴もたけなわの頃、上田新一郎さんの司会で各テーブル男女各1人に「近況でも何でもお話しください」とマイクでのおしゃべりタイム。それぞれが喜怒哀楽を含んだ長い人生での味のある話の数々。(時間があれば全員の話を聞きたかった)

あっという間に時間が過ぎ、閉会の挨拶のなかで真野さんから「次回が最後になるかも知れないけれど『はち』に因んで2年後の令和8年に、今日来られなかった人も誘って元気で集まりましょう!」との力強い言葉。盛大な拍手が送られました。

元気に次回の同窓会で会えることを約束し、各自笑顔で帰路に着きました。

(木村栄一)

洛九(ラッキュー)会

洛北9期

今年も秋の京都に集う

まだ少し残暑の続く10月26日に今年も「フォーチュンガーデン・京都」でラッキュー会を開催しました。初めて参加するという方も合わせて38人が集りました。開会に先立ち、すでに旅立ってしまわれた105人の方々のご冥福をお祈りし、改めて健康のありがたさをかみしめながら黙祷。

川瀬さんの開会挨拶に続いて説田さんの乾杯音頭、そして物部さんと鈴木美智子さんの司会で和やかに会が始まりました。80歳を過ぎても元気に活躍されている方々が多くおられ、日展をはじめいろいろな展覧会に出品されて、「あかね第61号」の表紙を富士山麓忍野の月見草で飾られた日本画家の水田幹子さん、環境衛生の技術者の目から見た世界の列車トイレ事情をまとめ『列車　トイレの世界』を出版された清水治さん、繊維の研究開発に長年携わってこられた八木健吉さんなどから面白いエピソードや興味深い話などが次々と話されて大いに盛り上がり、続いて初めて参加された方や自治会で活躍されている方々の話も飛び出して予定時間はあっという間に過ぎました。

最後に三浦さんから「少人数になってもラッキュー会は続ける」との力強い(?)言葉をいただき校歌を歌って閉会となりましたが、いつものごとく話し足りない分は別会場でコーヒーを飲みながら…となりました。

次回は令和6年10月23日(水)に開催の予定です。またその時には元気にお会いしましょう。

(久山正通)

洛北高校21期同窓会

洛北21期

「古希で最後の集まり」

「僕が桃太郎をやるわ!」と、学園祭の仮装行列では、わが4組は「夢と童話の世界」のお題で母校の周りを練り歩きました。あれから52年、令和5年9月、洛北21期最後の同窓会を80人で開催しました。長年同窓会の幹事を務めてくれた谷口光男君が前年急逝し、彼の望みだった『古希で最後の同窓会を』という願いを叶えるため、慣れない面々で、関係者から援助をいただいて開くことができました。

ポスト団塊世代で、戦後8年目で生を受けた我々、貧しい幼少期を生き抜き、小学時代の東京オリンピックで世界を感じ、高度成長期で輝かしい未来を夢見て、洛北で貴重な青春期を送りました。

多くの個性溢れる友に恵まれ、生きていく厄介さや楽しさを教えてもらいました。70歳を迎え様相はすっかり変わりましたが、全員で友を偲び、古希の喜びを分かち合いました。

(幹事　塩見)

洛北高校22回卒馬羊会同窓会

洛北22期

古希を祝っていつまでも

令和6年6月16日(日)13時から『キャピタル東洋亭』にて35人(男子9人女子26人)の参加で開催しました。

5年前、商業科3クラスの同窓会を初めて開催し、2年後に会う約束をして別れましたが、新型コロナウイルス感染症のため延期となりました。今年古希を迎える年齢になり、長寿を祝う記念の会として開催しました。

初めに亡くなった5人の友達に1分間の黙祷をささげ、故人を偲びました。前回より参加者が15人増え、52年ぶりの再会にあちらこちらのテーブルで話に花が咲いていました。3時間の宴会時間がいつのまにか過ぎて行き、中間にイベントとして「おさる」こと田中浩次君の伴奏でフォークソング『私に人生と言えるものがあるなら』と『遠い世界に』を皆で歌いました。古希を祝って用意した特大ケーキが登場しました。

(写真中央)

校歌を斉唱した後、遅れて参加した人も交えて全員で集合写真を撮影。その流れで「旭丘中学校」「大原中学校」「加茂川中学校」「嘉楽中学校」の出身校別でも集合写真を撮って、ワイワイガヤガヤと楽しい時間を過ごしました。

「今度こそは2年後に」と再会を約束し、次回の幹事を選びました。

(代表幹事　倉本茂之)

積木の会

洛北23期

大いに盛り上がり古希での再会を誓う

新型コロナウイルスが五類感染症に移行になって初めての「積木の会」を、慣例の4年に一度のオリンピック・パラリンピック開催に合わせて4月に開催し、二次会も含めて80人以上の参加者がありました。

一次会だけでは物足りず、ほとんどの参加者が二次会になだれ込み、それでも話の種が尽きることはありませんでした。

そして解散時には、次回は4年後のロサンゼルスオリンピック開催の年まで待てないと、2年後に「古希」のお祝いを兼ねて「積木の会」を開催しようと盛り上がり、幹事としても約束せざるを得ない雰囲気となりました。

ということで次回は2年後、同期全員が元気で古希を迎えて再会できることを願っています。

（積木の会事務局　河原敏明記）

洛北1975年入学者同窓会

洛北27期

「多様性のるつぼ」の50年後

10年以上開かれていなかった学年同窓会。還暦での開催を目指したが、コロナ禍で延期に次ぐ延期となり、昨年8月、ようやくグランヴィア京都「古今の間」で実現した時には、64歳を迎えていた。満を持しての集いには105人が参加し、懐かしい時間が流れた。往復はがきの印刷や投函など、同窓会事務局には長期にわたり大変お世話になった。

多様性の重要さが指摘されて久しい。私たちが通った頃の洛北は、時代を大幅に先取りして、生徒も先生もまさに「多様性のるつぼ」だった。緩い日々の学校生活、修学旅行での乱行などお恥ずかしい限りだ。それでもるつぼの中で楽しみ、もがき苦しんだあの頃は人生の宝物となっている。

今回の学年同窓会は、あえて27期卒業生のものとはせず、75年に一緒に「入学した」生徒が集まった。普通科、商業科、定時制の人、さまざまな理由で留年した人、問題を起こして長期停学となり、やむなく他校へ移った人にも声をかけた。失礼を顧みず言う。それから50年近く経過した今、当時はどうなることかと気をもませた幼馴染の某君の「まっとうな大人」ぶりに感動した。るつぼは悪くなかった。

（福冨正秀）

洛北高校30期第8回同窓会

洛北30期

「はばたけ第二の人生」をスローガンに

コロナ禍で開催が延期されていましたが、ようやく令和5年8月12日、ザ・プリンス京都宝ヶ池にて還暦記念同窓会を盛大に開催することができました。今回はオプショナルツアーとして当日12時から学校見学も行いました。

卒業時からの学校の変わりように皆さん驚いていました。しかし当時と変わらぬ古い体育館やグラウンドでは、懐かしい青春の思い出が走馬灯のように湧き出てきて、深い感動を覚えました。14時からホテルで134人もの多くの参加者を迎え「はばたけ第二の人生」をスローガンに、食事・歓談・テーブル対抗クイズ合戦・校歌斉唱・記念撮影などを行い、どの瞬間も同級生の笑顔が絶えない、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

卒業して還暦を迎え43年を経た今でも、こんなに多くの仲間に会えることができたことに同窓会幹事一同感謝しています。

（第8回同窓会幹事長　前田尚克）

ホテルニューアワジ
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷20　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

ヴィラ 楽園 Villa Rakuen
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷20　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

淡路夢泉景 AWAJI YUMESENKEI
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷1052-2　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

天原 AMAHARA
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷1052-2　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

ホテルニューアワジ別荘 海のホテル 島花 Shima Hana
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷1277-5　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

潮の荘 花季 Hajime no Sho Hana Gogomi
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷1053-16　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

夢海路 淡路島 Yume kairo Awajishima
〒656-0024
兵庫県洲本市山手1-1-50　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

ホテルニューアワジ プラザ淡路島
〒656-0542
兵庫県南あわじ市阿万吹上町1433-2　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

ホテルニューアワジ別荘 あわじ浜離宮 AWAJIHAMARIKYU
〒656-0304
兵庫県南あわじ市松帆古津路970-81　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

あわじ浜離宮 別荘 鐸海 TAKUMI
〒656-0304
兵庫県南あわじ市松帆古津路970-6　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

湯小宿 海の薫と AWAJISHIMA
〒656-0501
兵庫県南あわじ市福良甲1529-7　TEL.0570-079922（ナビダイヤル）

蒼の湖邸 BIWAFRONT HIKONE
〒522-0002
滋賀県彦根市松原町1435-91　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

清水小路 坂のホテル京都
〒605-0862
京都市東山区清水4-200　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

Hotel 侑楽京八坂 -yuraku-
〒605-0072
京都府京都市東山区鷲尾町528　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

SHERATON Kobe Bay Hotel & Towers
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中2-13（六甲アイランド）　TEL.078-857-7000

ザ・シロヤマテラス津山別邸 THE SHIROYAMA TERRACE TSUYAMA VILLA
〒708-0022
岡山県津山市山下30-1　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

琴平花壇
〒766-0001
香川県仲多度郡琴平町1241-5　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

湯山荘 阿讃琴南 あさんことなみ
〒766-0204
香川県仲多度郡まんのう町勝浦1　TEL.0570-078857（ナビダイヤル）

Hotel 宇多野 京都別墅 ～2024年・11月開業～

ホテルニューアワジグループ
代表取締役 木下 紘一（昭和36年卒）

北海道支部

第59回北海道支部の集いを開催

6月22日(土)、札幌ガーデンパレスにて支部の集いを開催しました。今回は当支部最年長の安田さん（京一中昭23卒）に支部発足当時を踏まえた来し方のお話をしていただきました。

冒頭、記念すべき北海道支部総会の第1回が、1964年（昭和39年）7月27日に札幌市内で開催され、その後、今日に至るまで絶えることなく開催し続けて来られたことへの感謝が述べられました。

御年94歳の安田さんの京一中在学時代は戦後の混乱期にあたり中学3年生の一時期、家庭の事情で北海道の最北の稚内に転校されたそうです。凍える海水の中から砲台を築くための石を拾う作業をしたこと、頼まれて米穀手帳等の取得のために出掛けた夜の山道で熊に遭遇し、校歌を大声で歌ったら熊が退散した武勇伝などをお聞きしました。

こういった経験で心身が鍛えられたとおっしゃる安田さんは、現在、地元の水泳団体の顧問として活躍され、昨年の札幌マラソンで10キロを完走されたとのことでした。

残念ながら安田さんは所用で中座されましたが、やはり熊の話はインパクトがあって、その後は熊の話題で盛り上がりました。北海道に限らず今や全国的な問題となっている熊への対策。熊と人との距離が近づき過ぎていること、自治体による猟友会などでの熊駆除には限界と問題点があるのではないか、などと話しているうちに予定の時間を過ぎ、和気あいあいとしたなかで総会をお開きとしました。

（洛北24期　木村比登美）

東北支部

ミニ昼食会で再開を祝いました

コロナ禍で長らく活動が止まったままだった東北支部は、2024年3月30日(土)に再開。JR盛岡駅に隣接したホテルのレストランで昼食会を開きました。東北4県から合計4人が参加というミニ昼食会でしたが、美味しい中華料理と懐かしい話で大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

昼食会終了後、盛岡市近郊にお住まいの藤居宏一さん（洛北6期）の案内で、天然記念物盛岡石割桜を見学いたしました。大きな石を割って枝を伸ばす桜の様は何とか再開に漕ぎつけた東北支部同窓会に少し重なり、思い出深い訪問となりました。

今後も無理のないペースで少しずつ活動を続けていければと考えています。

関東支部

2023年、活動を再開しました

4年ぶりの活動再開です。9月22日の洛北倶楽部では、植木宣隆氏（洛北19期・サンマーク出版会長）に講演をお願いしました。総会・東京の集いは、11月11日に住友会館にて開催。京都本部の髙坂節三会長（4期）、周年記念事業の木下博夫実行委員長（10期）をお迎えし、約80人が集いました。今回は、19期が代表幹事となり、支部役員と有志メンバーで協力し運営しました。総会では田中均支部長（14期）の挨拶の後、川谷聡事務局長（20期）から会計報告と新しい支部規則の説明があり承認されました。懇親会は、年代ごとに丸テーブルに着席。同窓会の和気あいあいとした雰囲気の中、保科篤志さん（34期）によるジャズ演奏で大いに盛り上がりました。

今年2月2日、支部幹事会を開催し、東京の集い（総会）は、11月30日開催が決まりました。若い年度幹事は不在ですが、今年も有志メンバーで協力して準備を進めます。

【田中均支部長 近況】

X（旧ツイッター）のURL（@TanakaDiplomat）

世界のパワーバランスの変化、日本政治の混乱、そして世界的な選挙イヤーとなる2024年、元外交官の田中支部長は、YouTubeはじめ様々なメディアで、政治はどうあるべきかを情報発信されています。戦争や核の脅威という忌まわしい手段が選択されない世界が築かれることを切に願います。

【上田藍選手 近況】

トライアスロン選手、関東支部のアイドル的存在。プロへ転向し、世界大会の参加だけでなく、講演や大会アドバイザーなど幅広く活動しておられ、インスタグラムでその様子、素敵な笑顔が配信されています。

【関東支部2024年活動予定】

① 洛北倶楽部 開催日未定

② 総会・東京の集い　11月30日(土)16時30分から住友会館(泉ガーデンタワー)にて。内容企画は未定。円卓着席式で開催。42階会場から夕日が沈む美しい富士山が見られます。別途、案内状を送付しますが、参加希望者はHPやメール、Facebookからでも受け付けます。関東支部から過去一度もメールが届いていない方、関東在住に限らず、興味がある方は、支部のHP〈https://rakuhoku-highschools.com/〉からメールアドレスを登録してください。

（洛北35期　清水晃）

東海支部

東海支部　意外に近い東海・名古屋

昨年は4年ぶりに支部会合を開催することができました。本部から蒋池事務局長にご出席いただき、少人数でしたが久しぶりに顔を合わせて楽しいひと時を過ごせました。その時の模様は同窓会ホームページに掲載されておりますのでぜひご覧ください。

支部の中では最も京都に近い名古屋市を中心とした東海支部ですが、どれほど離れているのでしょうか。

京都駅～名古屋駅、直線距離で104キロ強、「のぞみ」に乗れば35分です。在来線では奈良線・関西線経由が最短で、旅情は良しですが4時間以上かかります。私は専ら東海道在来線を利用。特急料金要らずの新快速で、最短なら2時間15分。車窓の岐阜、滋賀の住宅地化には驚きです。安価なハイウェイバス超特急なら新名神・東名阪のルートで2時間25分です。

今、名古屋駅周辺ではリニア名古屋駅の工事や、開業を当て込んだ再開発が進んでいます。問題山積で、京都～名古屋間ではメリットがあるとは思えません。

愛知・三重・岐阜、意外に近い所です。面白いスポットもたくさんあります。一度お出かけになっては？「意外に近い」エリアにお住まいの方はぜひ支部会合へお出かけください。

工事中の駅前ロータリー

●京一中・洛北高 あかねゴルフ会

400回を迎え「継続は力なり」を実践中

京一中・洛北高あかねゴルフ会は、昭和41年（1966）7月「京一中ゴルフ会」として発足以来、平成21年（2009）に洛北高校の卒業生も参画して継続させることに努力して今日に至っています。

令和6年（2024）4月10日の例会で400回を迎えることができました。半世紀を越える歴史に思いを致し、記念品（チップマーカー）を制作して会員の皆様に配布しました。

この記念品は、米寿を迎えられた会長から、エージシュート88回達成を記念して、金一封のご寄付を頂戴し、その御好意を400回の記念品に充当させていただいたものです。

現在30人で運営していますが、40人まで12期卒業以降の仲間の入会を歓迎します。年7回の例会は参加費2000円で、年間の成績をポイント制で表彰を行う等、工夫しています。舟山コース様からゴルフボールの提供等応援をいただいています。

入会希望の方は、ぜひ同窓会事務局までお知らせください。

会　長　波多野元三郎（洛北3期）
世話役　小林大二（洛北7期）
　　本間恒雄（洛北10期）　文責

●新聞局 局友会

第一線で活躍の局友会ヒトケタ世代、三輪晃久氏

いつも例会で長短さまざまな各局友の近況報告の後、爽やかな美術の世界を披露いただく局友会長老のお一人、三輪晃久氏（洛2）を、初夏の昼下り、有志が堂本印象美術館に訪ねた。

三輪局友は、日本美術史の巨星と称えられる日本画家の堂本印象を師とし、雄大な自然を繊細な筆致で描いた画作を発表、京都画壇の雄として広く知られている。2018年から同館の館長を務め、今やライフワークとして印象の作品だけでなく、独自の企画でさまざまな美術作品を展示紹介している。この秋には日本画家・福田豊四郎の生誕120年を記念した特別企画展を開催予定である。

画家としての業績の上、こうした芸術文化への貢献が認められて、三輪局友は平成31年に京都府文化賞特別功労賞を、昨年には地域文化功労者として文部科学大臣表彰を受けられている。

同館は立命館大学の衣笠キャンパスの向いに位置するモダンな建物。きぬかけの路をたどって世界遺産の金閣寺、龍安寺や仁和寺にも立ち寄れる好立地。局友のみならず広く卒業生や洛北高生もぜひ訪れて、しばし美術の世界に時を過ごすことをお勧めしたい訪問だった。

（局友会世話人）

●北山の会（京都一中・鴨沂高校・洛北高校山岳部OB会）

「北山荘と北海道大学の山小屋」講演会

昨年11月、洛北・北大両校山岳部OBの小泉章夫さん（洛北23期）を講師に講演会を開催しました。著名な登山家西堀榮三郎さんら（京大）は一中山岳部OBで北山荘の創建にかかわりました。極地研究のパイオニア加納一郎さん（北大）も4年上の京一中OBです。講演では2つの山岳部の間には交流や共時性があり、山小屋が100年にわたって山岳部現役・OB自らの労力奉仕によって維持されてきたことの、これが最大の要因であるとの指摘がありました。リベラルな人間関係、部員自身の立案による探検志向の山行システムなども類似点とのことでした。

小泉さんはヒマラヤ厳冬期ダウラギリ登頂のツワモノですが、ほかに南極観測隊で大きな功績を残したひともおられます。その活躍ぶりはまたの機会に紹介したいとおもいます。

北山の会eメール：kitayamanokai2019★leto.eonet.ne.jp
（北山の会前会長　洛北13期　黒田俊郎）

1927年創建の一中小屋（北山荘）

1927年創建の北大ヘルヴェチアヒュッテ

●バスケットボール部OBOG会

洛北バスケット部OBOG会を終えて

6月8日に無事OBOG会を終えました。出席いただいたOBOGの皆さんは53人と、初めての初夏開催でしたので少人数でしたが、幅広い年代の方々に出席いただきました。

さすが文武両道の高校ならではの色々なエピソードを聴くことができて有意義な時間となりました。短時間ではありましたが私個人的には、今後も周期的に開催できればと思う昨今です。今後は若手OBOGの方々にバトンを渡して頑張っていただきたいです。

司会を担当していただいたツジミチヨ様、ありがとうございました。

● 硬式野球部OB会

今年も500歳野球 春季大会が開催！

今年も500歳野球春季大会が各球場で始まりました。2回戦（VS立命館OBクラブ）と3回戦（VS城陽クラブ）をリポートします。

毎年桜の咲く頃、往年の高校球児が集まる試合を楽しみに岡崎公園内の野球場に行くと、応援に来ておられる洛北2期の大角孝司氏。今年も我々22期の同級生3人とともに声援の結果、2回戦は大量点差で母校の勝利となりました。大角先輩はわれわれのような「にわか応援」でなく、プロの解説者のように実に熱心に各選手のプレーを分析しておられました。

翌週の3回戦には5期の山内千昭先輩も来られ、メガホンやカメラ持参で駆け付けた我々のほか、奥様方も来られて大応援団が結成。応援は盛り上がりましたが、残念ながら総合力で惜敗しました。

ネット裏では、10期の本間恒雄氏のお姿が見えず残念でした。本間氏によると、洛北は第2回・4回・6回・8回大会で優勝しているそうです。同期の野球部OBの松葉公博君、愛甲博明君、佐竹三夫君がいつも通り頑張っている姿に勇気をもらいました。秋季の大会は決勝戦までリポートできればと思います。

（平塚泉　洛北22期）

MOS BURGER　牛角 炭火焼肉酒家　ニシキ屋

株式会社 ダウンタウンフーズ

相談役 森田　正（洛北22回卒）

- モスバーガー住吉店
  都営新宿線・半蔵門線住吉駅
  A3 出口すぐ
- モスバーガー亀戸店
  JR 総武線 亀戸駅 徒歩2分
- 牛角錦糸町テルミナ店
  JR 錦糸町駅 南口 徒歩1分
- 牛角江戸川大杉店
  環七通り、大杉2丁目交差点（駐車場30台）
- もつ焼き横丁ニシキ屋
  JR錦糸町駅 南口 徒歩1分（JRA向い）

お出かけにも、集まりにも
便利な祇園四条。
心がなごむ
ロシア、ウクライナ料理を
お楽しみください。

同窓会・クラス会など、お気軽にご利用ください。
鴨川を見渡せる50席のメインダイニングに加え、
12名様・25名様の個室もご用意しています。
夏期は屋上ビアガーデンもお楽しみください。

レストラン キエフ

〒605-0077
京都市東山区縄手通四条上ル鴨東ビル6F
TEL（075）525-0860　FAX（075）525-0810
ホームページ https://restaurant-kiev.com/

会長　加藤　幹雄（洛五）
代表　加藤 智恵子（洛五）

Book Reviews

会員著書紹介

『先哲の東洋的思惟に学ぶ 畏怖と含羞 ―科学と漂泊の真旅―』

● 紹介者
本田陸士（洛北10期）

羽室淳爾 著
（洛北10期）

人相学や骨相学を学んだわけではないが、著者の顔を見るたびに、前頭葉が張り出した立派な偉人の相だなと思う。「氷が溶けたら何になりますか」という問いに「水になります」と答えるのは理科系、「春になります」と答えるのは文科系といわれる。ところが本書には理科系、文科系に加えて形而上系ロマンがあり、読むと清涼な気持ちにさせられる。

左京区、京大、洛北高校と聞くと、いつも総天然色の情景が脳裏に浮かんでくる。例えば文化祭のグラウンドでオクラホマミキサーを踊った時、お目当てのマドンナが近づいてきたのに、いったん曲が止まり再開すると彼女はくるりとユーターン…なんていう悔しい思い出が蘇る。得てして人生とはそういうものだろう。著者の言う「漂泊」と通底しているのではないかと思う。

本書を枕元に置いて気の向いたときにページを繰っていると、夢かうつつか幻かという心境に至る。専門外の方々も楽しめると思う。引用される先哲の言葉に今更ながら心打たれる人もいるだろう。漂泊の真旅を続けられる著者に、心からの拍手を送りたいと思う。

発行所　北斗書房（2023年11月刊）
本体900円（237頁）

『奇跡の森 EXPO'70』

● 紹介者
吉村元男（洛北5期）

畑　祥雄 著
（洛北17期）

進歩と調和をテーマにした1970年大阪万博の起草文の原案をつくった京一中の大先輩梅棹忠夫先生に「学者や芸術家よ、妄想を抱け」と檄を飛ばされた洛北の後輩である畑祥雄氏は、50年たって写真集『奇跡の森 EXPO'70』を出版した。都市センターとして開発予定であった万博会場跡地は、梅棹先生らが開発を阻止し「緑に包まれた文化公園」へと舵を切った。この構想のもとで私は万博の森の基本設計に携わった。奇跡の森の誕生である。京大探検部の顧問であり恩師であった梅棹先生に「なぜ跡地に森を造るのか」と尋ねたところ「建物を立てさせないためだよ」と言われた。梅棹合理主義の答えであった。

畑氏は人間が創った改良ニワトリの写真集「HANAKO」で世界的写真家となった。本書では植栽から50年を経た奇跡の森に長期にわたって通いつめ、人工の森が遷移による天然の森以上に豊かな生物多様性の森であることを、数十万枚の写真によって証明した。地球温暖化による危機の21世末に生きる人々へ、人と生きものが共存できるSDGsの未来の予言書になるだろう。

発行所　㈱プレーンセンター（2024年7月刊）
本体3,850円（税込）（144頁）

『二十四節気 花飾り 茶花×英国式』

● 紹介者
長澤美恵（洛北20期）

西本宗叔・かわべやすこ 著
（河辺恭子）（洛北20期）

「多くの日本人は自分の国がどれだけ素晴らしいか気付かず、真の理解を欠いている」本書にある写真家ジョニー・ハイマス氏の言葉に触れた時、まさに己のことだと自省した。

二十四節気に合わせて生けられた河辺さんの英国スタイルのフラワーアレンジメントと、茶道速水流教授、西本宗寂さんの茶花との競演。選ばれた季節の花を、河辺さんは花の色と形、そしてテクスチャー（質感）を基本にご自分の心を花に託すようにアレンジされ、時に英国の思い出にまつわる花器に盛り、花の魅力を最大限に引き出される。一方、西本さんは、茶室のしつらえを念頭に簡素なまでに凝縮した一枝で茶花の奥深さを伝えられる。

季節のお菓子（同期の池田知嘉子さんが嫁がれた川端道喜製「亥の子餅」も登場）や料理に添えられた河辺さんのエッセイには、鴨川を中心とした洛北界わいの思い出が綴られ、心打たれる。花飾りを風物詩を共に追いかけた夫、河辺利晴さんの卓越した写真もこの本を更に魅力的なものにしている。

身の回りに当たり前にある「花」がどれだけ人生に彩りを与え、支えてくれているのか気付かせていただいた。感謝の念しかない。

発行所　京都新聞出版センター（2024年2月刊）
本体2,400円（157頁）

恩師を偲んで

ずしんと響いた「哲学者」の言葉

安田　曜（洛北23期）

藤川義人先生（体育）
令和６年４月３日ご逝去
(享年96)
在任／昭和36年４月～
59年３月

私たちの恩師、藤川義人先生は、ご存じの通り洛北サッカーの全国優勝監督であり、年代別サッカー日本代表のスタッフも務められた重鎮だった。ご本人も40歳代まで国体の代表選手として活躍された。藤川先生を思い起こす時、一番に「哲学者」という言葉が浮かんでくる。

洛北サッカーの活躍のためにどうすればいいか、サッカーを愛する青少年たちがどうすれば社会で活躍していけるかを常に考えておられた。私が入部した頃はまだ現役選手で、精悍な日焼け顔で発せられる言葉にはいつも考えさせられた。頭に残っている言葉は二つある。一つは「仕事は大切にして趣味は二つ以上持て」である。先生はサッカーが大好きだったが、バイオリンという趣味も持っておられ、先生を囲む会やお宅におよばれした時には必ず演奏してくださった。サッカーと違って趣味級だったが、楽しみの一つがうまくいかない時にもう一つあればそちらで自己解放できる、と言っておられた。もう一つ頭から離れないのが、ある夏、勝利したものの内容が良くなかった練習試合の後「今日のプレーにはヘドロが出る」と叱られたのだ。ヘどが出るとは言うが「ヘドロが出る」という言葉は聞いたことがない。多くの部員は間違いだろうと言っていたが、私はヘドロが教え込むサッカーではなく「自ら判断して動くサッカー」を目指された。PKの心構えを話された後、実演されたがゴールが入らず、真面目な顔でキーパーを褒められるというお茶目な一面もあった。もちろん「哲学者」に対して笑う者はいなかったが。

そして我々ＯＢがいつでも世代を越えて集える洛北サッカー・コミュニティをつくられた功績は、とてつもなく大きい。とにもかくにもサッカーの、人生の、師であり先達であった先生に、心から哀悼の意を表します。

（前京都一中洛北高校サッカーＯＢ会 会長）

前列中央が藤川先生、後列右から3人目が筆者

正解で、ヘドロのように洗っても落ちない、頭にこびりついて離れないダメな試合だと言われたのだと思っている。

また先生は褒めるのもうまかった。高校からサッカーを始めた私はなかなかチームについていけなかったが「お前はワンタッチ目のボールの置き場が素晴らしい、次のプレーに繋がる」。何のことはない、ボールを止める技術が私になかっただけなのだが。叱る時、鼓舞する時、先生の言葉はずしんと心に響いた。

大島武子先生の思い出

渡邉隆司（洛北27期）

大島武子先生（体育）
令和５年９月16日ご逝去
(享年98)
在任／昭和28年４月１日～
51年３月31日

同じ町内に住んでいたことから、先生には幼い時からいろいろとお世話になっていました。先生は体育の教師でしたので「健康第一」といつもおっしゃっていました。その中でも、「歩ける百歳を目指して！」と、ご自宅から片道約五キロメートルの狸谷不動尊本堂まで、毎朝歩いて往復されていたことが忘れられません。お休みの日は少し遅めの出発でしたが、学校があるときは早朝に出発されていました。天気や季節に関係なく続けておられたことが印象的でした。亡くなるまで身の回りのことをご自身でされていたのは、長い間、狸谷不動尊まで往復されていた賜物だと思います。

また、町内行事にも積極的に参加され、夏休みのラジオ体操では、ご自宅からラジカセをお持ちになり、近所の子供はもちろん大人にも細かな体の動かし方も含めて指導されていました。

定年になられてからは夜も運動できるからと、月に6回、5日ごとに「火の用心！」と声を出して町内を回られ、防火啓発をしていただきました。私が消防職員だったこともあり、我が家の子供も小学校の中学年から加わり、毎月先生と一緒に夜回りをさせていただきました。京都市内は毎月5日と20日が「無火災推進日」であることから、この2日間は地元消防団の方々も加わり夜回りをし、子どもには拍子木をいただいて、それを使って夜回りをしていました。この活動を京都新聞に取り上げていただき大きく写真入りで紹介されたことも、先生の思い出とともに今でも子供たちの宝物となっています。

先生は教え子のみならず多くの方々から慕われ、いろいろな方に多くのことを教えられました。感謝しております。どうぞ、天国から優しく時には厳しく、私たちを見守っていただきたいと思います。

改めて、ご冥福をお祈りいたします。

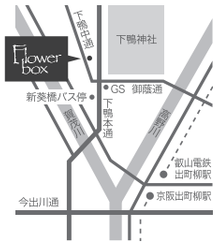
（元京都市消防局左京消防署　副署長）

洛北高校

◇岡井　満先生（校長）
令和5年9月29日ご逝去
在任：平成8年4月1日～
10年3月31日

◇西脇克明先生（英語）
令和5年ご逝去
在任：昭和26年4月1日～
27年3月31日

フラワーボックス　河辺 利晴
かわべ やすこ（洛北20期卒）
〒606-0804
京都市左京区下鴨松原町10-3〈下鴨中通り御蔭北〉
営業時間 10:00—18:00
E-mail yasukokawabe@flowerbox.jp
URL https://flowerbox.jp/
TEL 075-723-7476
FAX 075-781-0521



日本カラーグループ
Nihon Color Group

各種撮影・学校アルバム制作
日本カラーフォトスタジオ株式会社
(075)811-7272
フォトアトリエ エノ
pRoto atelier ENO
(075)811-8155
出張撮影
Kyoto 有限会社京光写真
(075)801-2340
人生の大切な瞬間を写真に残す

集う・学ぶ・味わう

京一中洛北クラブ（1・4・7・10月第3土曜　聖護院御殿荘　※変更あり）

昭和5年に始まる超・長寿会、ますます充実

第541回からの講演テーマと講師は左の通りです。第544回は、からすま京都ホテルにて開催。母校教諭で陸上競技部顧問の難波祐樹氏（洛南高校OB）を迎えて、自身のアスリートとしての歩みや指導者としての学びを振り返りながら、母校陸上部の今後の可能性や夢についてお話しいただきました。講演後は、参加者同士で当ホテルの会食と歓談を楽しみました。

第541回　令和5年9月16日
「親目線で見た宝塚音楽学校とファン目線で見る宝塚」
講師　佐々木祐子（洛39）

第542回　11月18日
「みんなで近助を！」
講師　伊藤昭（洛10）

第543回　令和6年1月20日
「火の用心をお願いします」
講師　渡邉隆司（洛27）

第544回　7月20日
「高校生の指導について」
講師　難波祐樹 洛北高校 教諭

第544回講師の難波祐樹教諭

関活洛有会（2・6・10月の第3金曜日　夕刻）

趣向あふれるテーマで活発に意見交換

第10期生が中心になってスタートした、関西を活性化する洛北有志の会「関活洛有会」は22年目に入った。昨年10月から京都の檀王法林寺交流会館「遊心菴」をお借りして例会を再開。第1部は会員からの話題提供と闊達な議論、第2部は各自持ち寄りの軽食で懇親・交流の時間としている。

第69回（令和5年10月20日）参加者13人
「100年前の絵から洛北の今を探す～日本画家・木島桜谷のスケッチ帳から～」
岡村眞（洛15）

第70回（令和6年2月16日）参加者15人
「意外と知られていない京都の現代史―太平洋戦争と京都の町―」
伊藤忠夫（洛17）

第71回（令和6年6月21日）参加者14人
「EXPO'70 奇跡の森～パビリオンが森になる～」
畑祥雄（洛17）

第71回は、梅棹忠夫氏（京一中昭和12年卒）が森創りを提唱し、造園家・環境学者の吉村元男氏（洛5）が設計した万博跡地の森を、畑氏が写真撮影するという「京一中―洛北」のリレー物語。美しい森を写真記録し、70年万博の100年後の2070年へ、次世代への贈り物を創るという壮大なお話でした。次回は10月、保護司の村上ますみさん（洛17）にお願いしています。同窓生有志の幅広いご参加を期待しています。

〈連絡先〉　洛北17期　毛利勝一
（mohrim@hi-ho.ne.jp）
洛北20期　林　芳樹
（kyo884@khaki.plala.or.jp）

同窓生が発信～

東西南北

「夢のつづき…」

京都府宇治市発

「車いすの私」で、走る

藤原　芽花（洛北69期）

スポーツは、おもしろい。スポーツは、楽しさも嬉しさも、悔しさも悲しみをももたらす。スポーツは、時に喜びにあふれ、時に怒りに満ち、その全てがおもしろい。

私は子どもの頃から走ることが大好きで、小中学生の頃はサッカー少女でした。洛北高校時代は、強豪女子ハンドボール部に異例の初心者で入部し、日本一を目指して部活動に情熱を注ぎました。怪我に苦しみ悔し涙もたくさん流しましたが、インターハイでは8強入りを果たし、走り続けた3年間はどんな時もハンドボールがおもしろくて仕方ありませんでした。

大学でもハンドボールを続けていましたが20歳の夏に原因不明の病で突然倒れ、歩くことができなくなりました。思うように自分の身体を動かすことができず、日毎に出来ることが減り、生活は一変しました。それでも私にはスポーツがありました。発病から1年後には車いすハンドボール日本代表に選出され、再びコートに戻ってきました。その他パラアイスホッケーでは唯一の日本人選手として女子世界大会に出場し、銅メダルを獲得しました。また、車いすバスケットボールでは皇后杯8連覇中の女子チームに所属し、現在は日本代表を目指して練習に励んでいます。

いつだってスポーツと共に生きてきた私の原動力は、好奇心でした。ハンドボールで日本一を目指した時も、パラスポーツで世界に飛び出した時も、そこにどんな景色が広がっているのかを知りたくて、例え初心者でも足が動かなくても、じっとしていられませんでした。好奇心が私を突き動かし、スポーツのおもしろさが私の身体と頭と心を満たし、今ここで生きていることを全身で感じさせるのです。突然の障害はきっかけに過ぎず、私はパラスポーツと出会うべくして出会ったのだと思います。

夢はパラリンピックで金メダルを獲得すること。スポーツのおもしろさに背中を押され、私は今日も好奇心の赴くままにまだ見ぬ景色に向かって走り続けています。

（佛教大学4回生・パラアスリート）

青森県野辺地町発

大自然と美味の青森に住んで

瀬川　三都子（洛北27期）

この地に住んで24年になります。まだまだ京都は抜けず、寒さや、雪の多さにもいまだに慣れません。そして、口から出てくるのは京都弁です。高校で働いているので、授業ももちろん京都弁ですが、生徒たちは、英語より京都弁ばかり真似します。（笑い）

青森に住んで素晴らしいと感じるのは、何といっても自然の景色です。新緑の奥入瀬も、紅葉の十和田湖もきれいですが、私の心を持っていったのは、冠雪した八甲田山です。運転中にもかかわらず、今でもつい見とれてしまいます。青森で最初に勤めた高校には、広い牧草地があり、そこから見える八甲田山と桜のコラボは絶景でした。京都の実家から見ていた比叡山や大文字山とは違い、八甲田は美しい中にも凛とした厳しさが感じられます。時には、多くの若者が亡くなられた事が思い出され、厳粛な気持ちになります。八甲田山を知ってから比叡山を見ると、今まで感じたこともない「やさしい」という言葉が自然と頭に浮かんでしまうから不思議なものです。

青森には美味しいものもたくさんあります。私の一番のおすすめは、ホタテの稚貝のお味噌汁です。稚貝とはホタテの赤ちゃんのことです。お刺身ももちろん美味しいのですが、この稚貝のお汁は、誰でも手軽に作れて、しかもとっても美味しい！このあたりでは春が近づくと、間引かれた稚貝がパックにつめられ、スーパーに並びます。大きめの白いパックにぎゅっと詰められ、その日の朝捕れたいろいろな魚と一緒に並べられています。お手頃価格でＧＥＴでき、この時期買い物に行って見つけると、即買いしてしまいます。（笑い）

洛北で高校生活を送っていた頃には、まさかこんなに遠い地に住むことになろうとは思いもよりませんでした。育った環境と違うので大変なこともありますが、京都とはまた違った魅力に感動することも度々です。好きな仕事ができ、新しい感動に出会える。感謝ですね。

（高校教師）

東京発

「人生は全て学問」を学んだ母校

土井　正己（洛北26期）

現在、私はスウェーデン資本の外交・戦略的広報のコンサル会社で上級副社長と日本法人の社長を兼務しており、山形大学の客員教授も務めている。また、時折「東洋経済」などにコラムを書く。65歳を超えたが多忙を極める毎日である。先般、「人生のピークは60歳でいい」というタイトルで、若者向けにコラムを書いた。「ゆっくり腰を据えて自分の中のアセット形成をすべきである」という意味のことを書いたのだが、これは実は自分に言い聞かせてきた言葉である。本音は「人生のピークは70歳でいい」であった。自分もまだまだ発展途上であり、学ぶことの興味は尽きない。「人生は全て学問」である。こういう考え方を与えてくれたのが、洛北高校であった。卒業式前夜、親友のO君の家で「医者もサラリーマンも、結局学ぶことは『人間とは何か』だ。人生は全てが学問」という議論を深夜までしたことを今も鮮明に覚えている。

振り返れば、大阪外国語大学（現大阪大学外国語学部）を卒業して、トヨタ自動車に就職したのだが、当時、エズラ・ボーゲルの「ジャパン・アズ・ナンバーワン」が世界で話題になっていた。日本の経済成長がミラクルといわれた時代であった。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」の理由を学んでみたいと思い、トヨタを選んだ。三十年後の退職を前に、「トヨタの強さの秘訣」について私なりの考察を小論文にまとめ、京都大学の経営学雑誌に掲載させていただいた。

トヨタ時代には赴任先のチェコで経営を学び、休みの日には欧州を旅し、歴史を学んだ。この時の学びが現在の外交広報を考える原点になっている。帰国後は、海外広報担当部長として、豊田章男社長（現会長）のスピーチ執筆も担当した。経営危機も乗り越え、多くのことを学んだ。

本年6月には、日本外交についての考察を行い、東洋経済誌に「今こそ日本とイギリスが関係強化すべき3つの理由。トランプ再来に備えよ」というタイトルで発表した。日本外交を考える時、自分の脳裏に常にあるのは「なぜ、日本は太平洋戦争をしなければならなかったか」である。我々には、その考察を幾度も行い、次の世代に伝えていく使命があると考えている。学ぶべきことは、まだまだ多い。「人生は全てが学問」という考え方を与えてくれたのが「洛北」であった。心から感謝したい。

（㈱）クレアブ・ワールドワイド 代表取締役）

高知県佐川町発

自由は土佐の山間より

長坂　直比路（洛北22期）

洛北高校を昭和48年に卒業して52年たってしまいました。現在70歳です。高知生まれの妻、子供は男女一人ずつ。63歳で高知県職員を退職後、年金暮らしです。

高校でのクラブ活動として、中学の1年生から続けていた柔道部に所属。さらに同級生に誘われて、部員数が15人に満たないラグビー部にも参加し、8カ月ほど柔道部と掛け持ちしました。身体的にはキツカッタですが、筋トレなどで体力・走力には自信があり、他校との試合に負けないようにやり抜きました。勝率もまずまず（6勝2敗）。短い間でしたが中身の充実した高校生活の思い出です。

なお、大学は高校より近い京都工芸繊維大学に入学しました。家業が友禅染をしていた関係からシルク関係の蚕糸生物学科を専攻しました。大学卒業後は大学院に進学。1年後、大学ＯＢで高知県職員の方から県職員への道を勧められ、大学院を一年で中退し、昭和55年に高知県職員になり、長岡郡大豊町の蚕業指導所に赴任しました。県内2カ所の指導所に勤務し、養蚕で15年間、多くの農家指導に励みました。その後、畜産試験場養鶏部門で26年間、研究と農家指導を担当。試験研究では病理診断と解体作業などを習得しました。

高知と言えば坂本龍馬しか知りませんでしたが、気候が温暖で太陽が近く、夜は明るい月や多くの星が輝き、比叡山などに登って感じる夜空です。また県民性は非常に大らか、男女問わずほぼ全員が酒好きです。私は刺身がやや苦手なのですが、こちらの鰹のタタキは絶品で大好きです。現在は、

毎日愛犬の散歩などで面白おかしく暮らしています。趣味が一つだけあって「スポーツ吹矢」という競技に夫婦ともども励んでいます。

これからも高知に住み続ける予定です。また京都には姉や妹家族がおり、また親しい友人も数人いますので、ぜひとも、無理にでも、時間を作って遊びに行きたいと思っています。

イタリア・フィレンツェ発

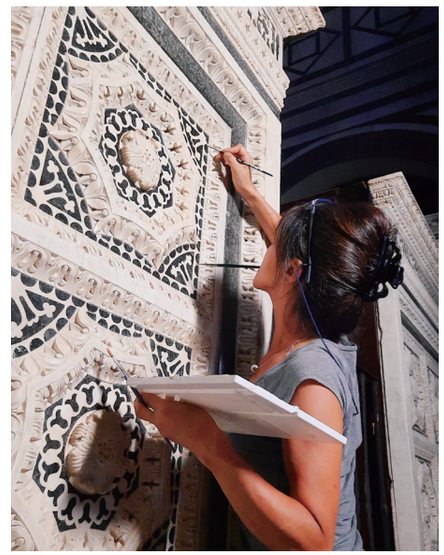
「手」でよみがえらせるイタリアの美

山本　千晶（洛北37期）

1999年、フレスコ画修復技術を取得するために、その発祥地イタリア、フィレンツェへ留学して以来、継続的な「小さな一歩ずつの前進」を経て、2003年後半より修復技師として今日もその地で活動し続けています。

洛北高校3年の時、幼少期から得意であったお絵描きを専門的に習得しようと決意し、絵画塾に通って大学受験勉強を開始。その後は精華大学ビジュアルデザイン科へ入学、修了後はアパレル業の専属グラフィックデザイナーとして約7年間勤務。そして渡伊を決意。現地での修復技術の就学中、次第に失われていった自身の手でモノを再現する喜びを改めて実感。

2002年フィレンツェ美術修復専門学校を修了、さらにトスカーナ州公認の壁画修復技師資格試験にも挑戦し、獲得。困難なイタリア就業滞在ビザがようやく届いた2003年後半から、フレスコ画や装飾壁画をはじめ大理石装飾や歴史的建造物装飾などの、イタリア文化遺産の修復活動を、トスカーナ州を中心として絶え間なく続けています。



数々の重要文化財にも手を触れ、2018年後半からは修復事務所を設けての独立活動です。長年勤務していた修復事務所が不景気の末に倒産したことをきっかけに、15年来の経験や人脈を考慮した上での決断でした。外国人であるデメリットもあり、多くの不安を抱えながらも、ひたすら自分の手を信じる新たな挑戦でした。コロナ禍の辛い時期（イタリアは大打撃を受けた）も乗り越え、今では順調に仕事の依頼が相次ぎ、多忙でありながらも充実した日々を送っています。

文化のかけ離れた国での25年来の生活。京都の姉妹都市フィレンツェで「私のもう一つの人生」を徐々に築き上げた現実を、華麗なフレスコ画を前に、ふと誇りに思います。

（修復技師）

母校だより

令和5年度卒業式
73期生267名が卒業、同窓会入り

令和6年3月1日（金）第73回卒業証書授与式が体育館で挙行され、267名が卒業しました。式では川口浩文校長から式辞が述べられ、卒業生の門出を激励されました。新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらもご来賓の案内、吹奏楽部の演奏については実施し、同窓会からは、会長の髙坂節三様及び常任理事の倉部京子様に出席していただきました。

2月29日（木）には、同窓会入会式が執り行われました。同窓会からは、髙坂節三会長及び蒋池信男常任理事が出席され、祝意を表されました。また、73期生の学年幹事へ委嘱状が渡され、同窓会と生徒会より卒業記念品の贈呈がありました。

■73期生幹事（敬称略）

1組	江畑　涼葉◎	5組	国府久楽楽　小寺　浩斗
2組	近藤　瑠真	谷川　裕紀	6組	加藤　大貴	小堀和佳子
3組	宮城　恵太	薮内亜衣莉	7組	上田　奏	熊谷　和士
4組	神　咲花	杉山　直希			

（◎印は73期生学年幹事代表）

令和6年度入学式

令和6年4月8日（月）午後に高等学校入学式及び附属中学校入学式が挙行され、高校へは280名、附属中学校へは80名の生徒が入学しました。令和になって以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中学と高校で別々の入学式を余儀なくされてきましたが、今年度は5年ぶりに中高合同の入学式を行うことができました。

新入生に対する入学許可の後、川口浩文校長が式辞を述べられました。続いて、ドゥヴリーズ景子PTA会長から祝辞をいただきました。本校の伝統を受け継ぐ洛北生としての新たな一歩を歩み始める新入生に対する想いが、十分に伝わる式となりました。同窓会からは、理事長 山川富士夫様・事務局長 蒋池信男様に御出席いただきました。今後も初心を忘れず充実した学校生活を送り、学習に、部活動に大いに活躍することを期待します。

令和5年度　進路状況

※（　）は判明分の過年度生の数（外数）

昨年度の卒業生は、東京大学、京都大学、大阪大学をはじめ国公立大学にのべ128名（18名）、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学をはじめ私立4年制大学にのべ453名（104名）が合格しました。国公立大学

医学部医学科の合格者数はのべ７名（４名）となっています。京都大学特色入試においても９年連続で合格者が出ました。特色入試開始からずっと合格者を出し続けているのは全国で６校しかなく、そのうちの一つが洛北高校です。

《国立大学》
東京大学３名、京都大学12名（３名）、大阪大学５名、北海道大学１名、神戸大学４名（４名）、東京海洋大学１名、お茶の水女子大学１名、福井大学１名、信州大学２名、岐阜大学１名、静岡大学３名、名古屋工業大学（１名）、滋賀大学７名、滋賀医科大学３名（２名）、京都教育大学４名、京都工芸繊維大学12名（３名）、奈良女子大学２名、鳥取大学１名、岡山大学２名（１名）、広島大学２名、徳島大学１名、鳴門教育大学１名、香川大学４名、愛媛大学２名、高知大学３名、佐賀大学１名、大分大学（１名）

《公立大学》
京都府立大学10名（１名）、京都府立医科大学５名、大阪公立大学９名（２名）、釧路公立大学１名、旭川市立大学１名、会津大学１名、三条市立大学１名、名古屋市立大学１名、滋賀県立大学12名、福知山公立大学１名、兵庫県立大学１名、和歌山県立医科大学１名、周南公立大学１名、高知工科大学２名

《私立大学》
同志社大学37名（８名）、立命館大学１０８名（17名）、関西大学20名（６名）、関西学院大学19名（１名）、早稲田大学１名、東京理科大学１名（１名）、中央大学（１名）、明治大学１名（２名）、京都産業大学54名（11名）、近畿大学21名（16名）、龍谷大学70名（20名）、藤田医科大学（２名）、京都薬科大学３名、大阪医科薬科大学１名（１名）、関西医科大学１名、その他１１６名（18名）

令和５年度前期・後期部活動報告

【体育系】

●男子ハンドボール部
第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会京都府予選
　優勝、ベストセブン賞３名
第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
　ベスト16

●女子ハンドボール部
第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会京都府予選
　準優勝、ベストセブン賞受賞２名
第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
　ベスト16

●サイエンス部
第15回日本地学オリンピック
　銅メダル　山本夏暉
第16回日本地学オリンピック
　銀メダル　田渕光希
第34回日本数学オリンピック
　Ａランク　藤澤俊介
物理チャレンジ２０２３　奨励賞　酒井柾貴
化学グランプリ　金賞　増井雄大
　銅賞　梅原真一・山本夏暉・酒井柾貴・久野楓・田渕光希
　近畿支部長賞　増井雄大
日本言語学オリンピック２０２４　長嶋来実
第23回日本情報オリンピック
　Ａランク（優秀賞）　宮奥創太
日本情報オリンピック第４回女性部門
　本選敢闘賞　田畑日奈子

●吹奏楽部
第60回京都府吹奏楽コンクール
　高等学校小編成の部　金賞
第56回京都府アンサンブルコンテスト
　高等学校の部　サクソフォーン４重奏　金賞

●囲碁・将棋部
第47回全国高校囲碁選手権
　男子団体戦準優勝　吉藤真成・中井芳樹・山内陽童
第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
　男子団体戦京都府チーム　６位入賞　副将：中井芳樹
　男子個人戦　出場　吉藤真成
第40回京都府高等学校総合文化祭
　囲碁部門個人戦　準優勝　山内陽童

第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
　ベスト16

●陸上競技部
第78回京都陸上競技選手権大会 兼 近畿選手権予選会日本選手権予選会特別国民体育大会京都府第２次予選会
　男子　３０００ｍＳＣ　第３位　藤林亮麿
　女子　４００ｍＨ　第４位　入倉千菜美
第56回京都府高等学校ユース陸上競技対校選手権
　１年男子　１５００ｍ　第２位　永山涼太郎（近畿ユース出場権獲得）
　２年男子　１５００ｍ　第３位　大西功起（近畿ユース出場権獲得）
　２年男子　５０００ｍ　第４位　畠中悠
　３年男子　３０００ｍ障害　第４位　野木琉平
第58回京都府高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会
　男子　３０００ｍ障害　優勝　和田泰直
　女子　４００ｍＨ　第３位　入倉千菜美
第74回京都府高等学校駅伝競走大会
　男子　第２位　坂元・大西・永井・三宅・服部・今堀・野木（近畿高校駅伝出場権獲得）
　男子　第３区　区間賞　永井孝明
　男子　第４区　区間賞　三宅勇希
第18回京都府国立・公立高等学校陸上競技対校選手権大会
　女子　１５００ｍ　第３位　国府久楽楽
　女子　４００ｍＨ　第２位　入倉千菜美
第74回近畿高等学校駅伝競走大会
　男子　第３位　坂元・大西・今堀・永井・野木・山本・三宅
　男子　第１区　区間賞　坂元南紬太

●水泳部
第91回日本高等学校選手権水泳競技大会
　女子　８００ｍ自由形　出場　田村朱里
第62回京都府高等学校水泳競技新人大会
　女子　４００ｍ自由形タイム決勝　第３位　田村朱里
　女子　２００ｍ自由形タイム決勝　第４位　田村朱里
第43回京都府高等学校室内選手権水泳競技大会
　女子　４００ｍ自由形タイム決勝　第３位　田村朱里

【文化系】

●放送部
第70回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト
　創作テレビドラマ部門　出場

●サイエンス部
第15回日本地学オリンピック
　銅メダル　山本夏暉
第16回日本地学オリンピック
　銀メダル　田渕光希
第34回日本数学オリンピック
　Ａランク　藤澤俊介
物理チャレンジ２０２３　奨励賞　酒井柾貴
化学グランプリ　金賞　増井雄大
　銅賞　梅原真一・山本夏暉・酒井柾貴・久野楓・田渕光希
　近畿支部長賞　増井雄大
日本言語学オリンピック２０２４　長嶋来実
第23回日本情報オリンピック
　Ａランク（優秀賞）　宮奥創太
日本情報オリンピック第４回女性部門
　本選敢闘賞　田畑日奈子

●吹奏楽部
第60回京都府吹奏楽コンクール
　高等学校小編成の部　金賞
第56回京都府アンサンブルコンテスト
　高等学校の部　サクソフォーン４重奏　金賞

●囲碁・将棋部
第47回全国高校囲碁選手権
　男子団体戦準優勝　吉藤真成・中井芳樹・山内陽童
第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
　男子団体戦京都府チーム　６位入賞　副将：中井芳樹
　男子個人戦　出場　吉藤真成
第40回京都府高等学校総合文化祭
　囲碁部門個人戦　準優勝　山内陽童
第43回近畿高等学校総合文化祭三重大会
　囲碁部門男子個人戦　第３位　中井芳樹
第11回京都府高等学校文化連盟囲碁部門冬季大会　総互先戦
　準優勝　山内陽童

令和６年度前期

【体育系】

●ラグビー部
第11回全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会京都府予選　準優勝
第77回京都府高等学校総合体育大会ラグビーフットボールの部　第４位

●女子バレーボール部
全国高等学校体育学科・コーススポーツ大会　出場

●男子ハンドボール部
令和６年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技京都府予選
　優勝、ベストセブン賞３名
　令和６年度優秀選手賞　受賞　４名
第67回近畿高等学校ハンドボール選手権大会
　優勝　ベストセブン賞３名

●女子ハンドボール部
令和６年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技京都府予選
　優勝、ベストセブン賞３名
　令和６年度優秀選手賞　受賞　３名
第67回近畿高等学校ハンドボール選手権大会
　第３位　ベストセブン賞１名
京都府高校総体
　女子団体２位　短田・山下・近藤・宮地・森重・瀬ノ口

12大会連続26回目の優勝（インターハイ京都府予選）

●文化研究部
第40回京都府高等学校総合文化祭小倉百人一首
　かるた部門　Ⅲ部　優勝　須永雛子
　準優勝　東叶子

全国高等学校総合体育大会団体戦京都府予選会 兼 第77回近畿高等学校弓道大会京都府予選会
女子団体　優勝　近藤・短田・山下・宮地・森重・瀬ノ口
全国高等学校総合体育大会弓道大会・第69回全国高等学校弓道大会
女子団体　出場　近藤・短田・山下・宮地・森重・瀬ノ口

●陸上競技部

第59回京都府高等学校春季陸上競技大会
男子　５０００ｍ　第1位　畠中悠
男子　３０００ｍＳＣ　第1位　野木琉平
女子　４００ｍＨ　第1位　入倉千菜美
第77回京都府高等学校総合体育大会（市内ブロック）
1年男子　８００ｍ　第2位　長野龍
1年男子　３０００ｍ　第3位　堤翔矢
2年男子　１５００ｍ　第4位　永山涼太郎
2年男子　走幅跳　第2位　吉野倫五
3年男子　５０００ｍ　第4位　水髙敬士
3年女子　４００ｍＨ　第2位　入倉千菜美
第77回京都府高等学校陸上競技対校選手権大会
男子　１５００ｍ　第3位　永山涼太郎（近畿インターハイ出場権獲得）
男子　３０００ｍＳＣ　第3位　野木琉平（近畿インターハイ出場権獲得）
男子　三段跳　第1位　吉野倫五（近畿インターハイ出場権獲得）
女子　４００ｍＨ　第3位　入倉千菜美（近畿インターハイ出場権獲得）
第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
女子　４００ｍＨ　出場　入倉千菜美　※在校生トピックス掲載（36頁）

●水泳部

第77回京都府高等学校総合体育大会水泳競技大会
女子　８００ｍ自由形タイム決勝　第2位　田村朱里
第92回京都府高等学校選手権水泳競技大会
女子　８００ｍ自由形タイム決勝　第3位　田村朱里
女子　８００ｍ自由形決勝　第4位　田村朱里（近畿大会出場権獲得）

【文化系】

●放送部

第63回京都府高等学校放送コンテスト 兼 第71回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト京都大会
創作テレビドラマ部門　第1位
→ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト出場

【部活動以外】

●フラッグフットボール（アメリカンフットボール）

Junior International Cup 2024 U17 女子日本代表
第6位　今村結乃

【附属中学校】

令和5年度後期

●第23回京都府中学校秋季陸上競技会

陸上競技の部　女子砲丸投げ　1位　平岡悠

【部活動以外】

●第11回科学の甲子園ジュニア全国大会京都府予選

優勝　池上結翔・倉本桂太朗・二宮義樹

●令和5年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会

京都協議会長賞　西大路梓・岡村水葵・山口紗恵子

●第34回日本数学オリンピック

地区表彰　青山真河

●第56回京都府アンサンブルコンテスト中学校の部

銀賞　齋藤壱樹・坂田凜・藤野市佳・穴澤来未・藤澤那帆・渡邊美月

●令和5年度中学生「税についての作文」

京都府総連会長賞　鵜飼留美
京都市市税事務所長賞　橋本煌平
左京税務署長賞　村井恵伍

●第69回青少年読書感想文コンクール

優秀賞　山口紗恵子・短田理沙

令和6年度前期

●第21回全国中学生弓道大会京都府予選会

女子団体の部　優勝　深川愛文・古賀日奈子・大勝美和
2位　藤崎美鈴・岡村水葵・村松夏帆
3位　池田真悠・木原詩・山際日和
女子個人の部　優勝　深川愛文
2位　古賀日奈子

スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）・国際交流等の取組

附属中学校の開校とともにスタートした洛北のＳＳＨ事業は令和４年度、第５期の指定を受け、「探究し続ける科学技術フロントランナーを育成する中高一貫教育プログラムのデザインと一般化」のテーマのもと、研究開発に取り組んでいます。

●SHOOT Lab（旧研究室体験研修）

令和４年度から実施している「SHOOT Lab」は、大学での研究体験と学校での課題研究活動を融合させた取組です。大学で経験した内容をもとに、自分たちで課題を設定し、探究した結果を発表します。参加者は無事に大学での研究室体験を終え、熱心に事後の研究活動に取り組み、令和６年３月12日に実施した課題研究発表にてポスター発表でその成果を発表しました。サイエンス科２年生とSHOOT Lab参加者が同時に発表を行うようになって２年目でしたが、今回も活発な発表が行われました。研究内容についても、１年目よりもブラッシュアップされたものになっており、取組の進化を感じられる内容になりました。

本年度もSHOOT Labはスタートしており、１年生19名、２年生９名、計28名が京都府立大学・京都工芸繊維大学の５研究室のテーマに参加予定です。昨年度の経験を活かしながら、よりよい研究活動になるように、企画を推進していきたいと思います。

●サイエンスチャレンジ・サタデープロジェクト

サイエンスチャレンジは、放課後、長期休業中など、授業外の時間を利用して、さまざまな「科学」に挑戦する課外活動です。特別講義や実験講座はもちろん、SHOOT Labや校外施設へのバスツアー、複数の教科科目の連携講座、オンラインミーティングを活用した講座や大学・研究所との連携講座など様々な取組を実施しています。

サタデープロジェクトは学年や教科の枠を超えた多様な活動を行うことで、生徒の知的好奇心を高めることを目的に、年間４回土曜日に実施しているもので、サイエンスチャレンジ企画に加え、語学・文学・経済学についての講義やワークショップ、校外見学ツアーなどを実施しています。

生徒の興味関心や主体性を伸ばすべく、先生方の趣向を凝らした様々な企画が予定されています。

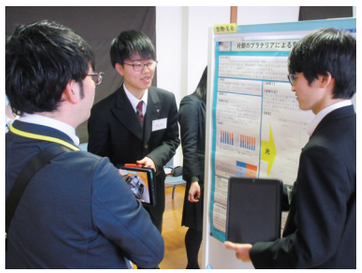
●「ラグランジュの会」を定期的に開催

「数学好き」という中学生・高校生を対象に、京都大学名誉教授である上野健爾先生と洛北高校をオンラインでつなぎ、「ラグランジュの会」を開催しています。現在は、府立中高一貫教育校からも参加者を募り、取組の幅を広げています。参加生徒の習熟度に合わせて講義内容を決め、講義の進め方も数学的な考察方法を自然と身につくようにプログラムしていただいており、とてもExcitingな取組となっています。

●課題研究の成果を校外で発表

課題探究Ⅱの授業で取り組んだ研究成果をまとめて校外で発表する場面が増えてきました。昨年度は以下のような成果がありました。今年度の課題探究の授業内でも様々なテーマにもとづいて課題研究を行っています。先輩に続いて素晴らしい成果が得られることを期待しています。

○令和５年度みやこサイエンスフェスタ
奨励賞　藤森陽生・梅原真一・佐藤尚耀・村井象治朗
○第14回坊ちゃん科学賞
優良入賞　乙幡璃子・谷川裕紀・佐々木映茉・森野紋央
入賞　梅原真一・佐藤尚耀・村井象治朗・藤森陽生
佳作　武藤優介・谷出成・奥村優介・青山更梨・永本愛結・山下叡・江畑涼葉



○第21回生活創造コンクール
努力賞　只友明德・辻詩有子・長谷川遥香・山下なり
○サイエンスファーム２０２３
優秀発表特別賞（奨励賞）　青山更梨・永本愛結・山下叡・江畑涼葉
○ＨＢＧ 高校生 ＳＤＧｓ 健康アイディア・コンテスト２０２３
最優秀賞　山下なり

●京都Scienceコミュニティ始動

これまでのＳＳＨ指定による研究開発や課題研究のノウハウを京都府立高校と共有すべく、府立高校の先生方と洛北高校でコミュニティを形成しています。コミュニティでは、情報共有以外にも、生徒が課題研究の研究計画をオンラインで交流する「サイエンススプラウト」、各府立高校をオンラインでつなぎ科学競技会を実施する「京都Scienceチャレンジ」、課題研究指導についての「教員研修」等の取組を実施予定です。このコミュニティ内でこれまでのＳＳＨ指定の成果を普及するとともに、府内の自然科学に関する課題研究のより一層の発展を洛北高校が担っていきます。

●洛北高校「グローバルリーダーシッププログラム」

昨年度企画した「グローバルリーダーシッププログラム」ですが、アメリカでの研修を成功裏に終えることができました。アメリカ研修にいたるまでに、多くの事前学習に取り組み、念入りに準備を進めてきたことが功を奏したと考えています。プログラムに参加した生徒たちはみな満足度が高く、リーダーになることを目指して学校生活を充実させています。参加した生徒の何人かは、学校説明会で自分の成長を自信に満ちた表情で来場者に発表してくれました。こうした姿を見ると、プログラムが生徒を成長させてくれていることを実感します。

今年度もグローバルリーダーシッププログラムを実施するべく、昨年度の反省を踏まえて、旅行社や関係各社と連携しながら準備を進めています。英語力向上はもちろん、ＳＤＧｓ等を踏まえた地球規模の課題に対する問題解決アイデアの立案や若手起業家との交流を通じて、問題解決能力やプレゼンテーション能力、アントレプレナーシップを育成する内容となっています。世界に視野を広げ、創造力を発揮し、社会に貢献したいという人材の育成を目指しています。

●国際交流・留学について

昨年度はアイルランドのエドモンドライスカレッジとオンラインでの交流を2回実施しました。また、Global Classmatesは今年度も引き続き採択され、アメリカのフォールズチャーチ高校との交流を通して、国際交流に関する取組を継続して実施できるようになってきました。外部の取組を活用しながら、本校独自の取組を少しずつ確立することができています。

留学についても希望する生徒が継続してあらわれるようになってきました。グローバルリーダーシッププログラムを除けば、昨年度は14名の生徒が、今年度は7月時点で17名の生徒が留学に関するプログラムによって海外渡航をしている、あるいはする予定になっています。

世界に目を向けた生徒は確実に増えてきています。今後も生徒の希望をかなえられるように、学校としてできることを広げていきたいと思います。

令和6年4月2日

令和６年度人事異動について

京都府立洛北高等学校・京都府立洛北高等学校附属中学校

転出者・退職者						転入者・新任者					
職　名	教科等	氏　名	よみがな	新任校等	備考	職　名	教科等	氏　名	よみがな	前任校等	備考
副校長		園山　博	そのやま　ひろし		退職	副校長		尾中　清香	おなか　さやか	府教委	
首席副校長		田中　秀二	たなか　ひでじ	府教委		首席副校長		南出　政隆	みなみで　まさたか		
教　諭	国　語	亀田　史子	かめだ　ふみこ		退職	教　諭	国　語	公文代　一希	くもんだい　かずき		新規採用
教　諭	国　語	佐々木　綾子	ささき　あやこ	東稜高		教　諭	国　語	西山　かなみ	にしやま　かなみ		新規採用
教　諭	国　語	吉岡　伸治	よしおか　しんじ		任期満了	教　諭	国　語	筒泉　有紀子	つつみ　ゆきこ	桃山高	
教　諭	国　語	古川　奈保子	ふるかわ　なおこ		再任用	教　諭	国　語	古川　奈保子	ふるかわ　なおこ		再任用
						教　諭	国　語	山﨑　亮太郎	やまざき　りょうたろう	木津高	
教　諭	地 歴・公民	谷口　温司	たにぐち　あつし		再任用	教　諭	地 歴・公民	谷口　温司	たにぐち　あつし		再任用
教　諭	数　学	南出　政隆	みなみで　まさたか	附属中首席副校長		教　諭	数　学	坂井　陽介	さかい　ようすけ	宇治市立黄檗中	
教　諭	数　学	山　了悟	やま　りょうご	府教委		教　諭	数　学	谷　智貴	たに　ともたか	嵯峨野高	
指導教諭	数　学	山本　育央	やまもと　いくひろ	役職定年		教　諭	数　学	山本　育央	やまもと　いくひろ		
教　諭	数　学	太田　恵一	おおた　けいいち		再任用	教　諭	数　学	太田　恵一	おおた　けいいち		再任用
教　諭	数　学	林　慶治	はやし　けいじ		再任用	教　諭	数　学	林　慶治	はやし　けいじ		再任用
教　諭	理　科	河嶋　隆司	かわしま　りゅうじ	桃山高		教　諭	理　科	井関　りんか	いせき　りんか		新規採用
教　諭	保健体育	岩内　陸	いわうち　りく	莵道高		教　諭	保健体育	西　政治	にし　まさはる	亀岡高	
教　諭	保健体育	西村　純	にしむら　じゅん		再任用	教　諭	保健体育	西村　純	にしむら　じゅん		再任用
教　諭	保健体育	前田　尚克	まえだ　なおかつ		再任用	教　諭	保健体育	前田　尚克	まえだ　なおかつ		再任用
教　諭	芸術（美術）	小野　啓亘	おの　ひろのぶ		再任用	教　諭	芸術（美術）	小野　啓亘	おの　ひろのぶ		再任用
教　諭	芸術（書道）	増川　陽子	ますかわ　ようこ		再任用	教　諭	芸術（書道）	増川　陽子	ますかわ　ようこ		再任用
教　諭	英　語	藤井　真理恵	ふじい　まりえ	西乙訓高		教　諭	英　語	赤松　春奈	あかまつ　はるな		新規採用
教　諭	家　庭	竝川　幸子	なみかわ　さちこ		再任用	教　諭	家　庭	竝川　幸子	なみかわ　さちこ		再任用
						常勤講師	保健体育	太田　直人	おおた　なおと		
常勤講師	情報	松本　慶子	まつもと　けいこ			常勤講師	情報	松本　慶子	まつもと　けいこ		
常勤講師	芸術（音楽）	井上　奈波	いのうえ　ななみ		育休代替	常勤講師	芸術（音楽）	井上　奈波	いのうえ　ななみ		育休代替
						事務職員		松田　香純	まつだ　かずみ		臨採

ご存じですか？

“府立学校特色化応援ファンディング事業”

府立洛北高校・附属中学校へご寄附をお願いいたします！

洛北高校・附属中学校では、〝府立学校特色化応援ファンディング事業（旧京都府母校応援ふるさと事業）〟を活用し、学校の教育環境改善や学習支援を促進するために、みなさまからのご寄附を募っています。

寄附金

部活動支援
●屋外コートやグラウンドの全天候化・人工芝化
文化系部活動の機器整備　等

学習活動支援
●より専門的な学習・進路指導に係る講師の招聘、
環境整備　等

実質2，000円の負担で、一定の上限まで寄附できます。

“府立学校特色化応援ファンディング事業”とは？

京都府教育委員会では、自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に寄附額のうち2，000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される「ふるさと納税」制度を活用し、府立学校の施設・設備、教育環境等の充実を図ることを目的として寄附金を募集します。

卒業生にかぎらず、どなたでも寄附していただけます。各府立学校においては、これまでから魅力ある学校づくりに向けて様々な取組を実施しています。

本事業は、こうした学校独自の取組を応援するという趣旨から、ふるさと納税を活用した制度として創設したものです。学校ごとに、寄附金を活用した取組内容を設定しており、学校を指定して寄附していただけます。

納付方法は、「金融機関への振込」も、「クレジットカード（インターネット）」も御利用になれます。

＊詳細は京都府教育委員会HP、本校HPをご覧ください。

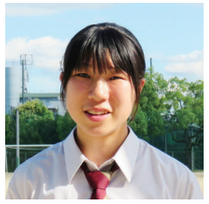
在校生トピックス

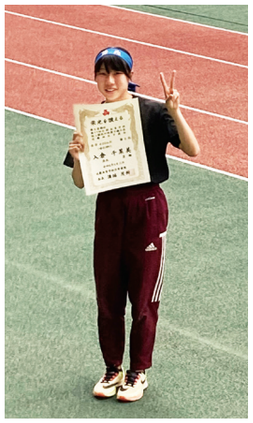
400mハードルで全国大会に出場！

文理コース3年の入倉千菜美さんが陸上競技の近畿大会で6位に入賞。7月末に福岡市で開かれる高校総体全国大会への出場が決定しました。種目は400mハードル。入倉さんにとって初の全国大会への挑戦です。

陸上競技との出会いは小学6年の大文字駅伝。友だちに誘われてメンバーに加わり、いきなりアンカーを務めることに。チームメイトと走り通せたという「やりきった感」が、その後の競技活動につながり、中学の陸上部で短距離や幅跳びに取り組みます。高校進学では、一番「文武両道」の精神が感じられ、部活動体験で雰囲気が良かった「洛北」を希望しました。

入学後も部のイメージは変わらず「少人数なので仲がいいし、先輩たちの練習メニューに自分たちなりの工夫やアイデアを加えられる自由度がいい」とのこと。また普段はのびのびしていて「やる時はやる」のが洛北陸上部の特色とか。入倉さんも大会で思うように結果が上がらないと落ち込んだりするけれど、勉学には持ち込まないよう「メリハリをつけて頑張っています！」と、洛北スピリットを部活以外にも生かしている様子です。





近畿大会にて

1年生の時から府大会などで上位入賞を果たしてきた入倉さん。ハードル競技が好きで得意種目かと思いきや、意外や「ハードルが怖い」のだとか。怖がらずに跳ぶことや逆足にならないようハードル間のストライドの調整を課題に日々邁進中。入倉さんの今後の飛躍が期待されます。

SDGs探究コンテストで審査員特別賞！

「廃棄されている『おから』から次世代エネルギーとしてのアンモニアを生成できないか」とのテーマで、1年間にわたって実験を重ねたサイエンス科3年の齊藤さくら、清水雪花（ゆか）、長澤晟行（あきゆき）、東口芽倭（めい）の皆さんによる研究論文が、（一社）未来教育推進機構主催のSDGs探究AWARDS2023で審査員特別賞を受賞しました。

論文タイトルは「納豆菌によるアンモニア生成とその有用性」。身近な納豆菌を使って、脱炭素燃料として注目されているアンモニアをより多く生成することを目標とした実験研究です。発酵材料としてフードロス削減の観点から、食品の製造工程で廃棄されている「おから」を活用しました。

チームは長澤君の呼び掛けに3人が参加して結成した、その名も「おからなっとう班」。アンモニア特有の臭いや納豆菌が死滅していたハプニングなどとたたかいながら、発酵準備に3時間半さらに2時間という長丁場の実験を、それぞれ勉学や部活動の時間をやりくりしながら続けてきました。

審査講評では、環境負荷の低減だけでなく産業廃棄物の有効活用にも貢献できる取り組みであり「持続可能な社会に向けた重要な一歩」と、チームの熱意と創造性が今後への期待も込めて高く評価されています。

この経験を通して得たものは「忍耐力」。「将来どんな分野でも、これからの人生においても必要なもの」と、長澤君は代表して話してくれました。

長澤君（中央）と後列左から清水さん、齊藤さん、東口さん

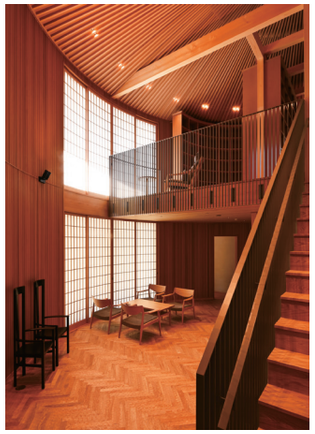
あかねの窓

湯川氏ゆかりのジャイロスコープを寄贈

母校の先輩、湯川秀樹氏の旧宅が京都大学に寄付され、迎賓施設として活用されることになったことを機に、同窓会所蔵の湯川氏ゆかりの実験器具「ジャイロスコープ」を京都大学へ寄贈しました。ジャイロスコープは湯川氏や湯川氏と同じくノーベル賞受賞者である朝永振一郎氏が、京一中に在学していた当時に授業などで使用されていたものです。

旧宅は下鴨神社の糺の森近くにあり、安藤忠雄氏の設計で改築・改修が行われて京大の迎賓施設「下鴨休影荘」としてオープン予定、展示スペースも設けられ、湯川氏の功績を発信するとともに市民向けの一般公開も年に数回行われます。

京都大学基礎物理学研究所提供



京都大学提供

桂ちょうばさんが米之助を襲名

洛北46期で落語家の桂ちょうば（本名：大倉正裕）さんが、令和7年（2025年）3月、四代目桂米之助を襲名されることになりました。ちょうばさんは6月に急逝された桂ざこばさんの弟子で、咲くやこの花賞受賞（2009年）、上方落語若手噺家グランプリ優勝（2018年）などを重ねて、若手実力者として活躍中。またレクリエーション介護士の資格を取得して、介護施設や老人クラブで落語会を開くなどユニークかつ精力的に活動されています。

襲名披露は来年3月中旬に大阪市で、桂米朝没後十年祭の一環として行われる予定。ちょうばさんからは当編集部に宛てて「身に余る大きな名跡を継がせていただくことになりました。早くこの名にふさわしい噺家になり、生涯をかけて『桂米之助』をひと回りもふた回りも大きくしていけたらと思います」との言葉が寄せられました。なお11月30日開催の第71回総会は、ちょうばさんご本人が講師として登壇されますので、多くのご参加とエールをお願いいたします。

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）会計報告書

収入の部			支出の部		
科　目	金　額	備　考	科　目	金　額	備　考
前年度繰越金①	11,344,173	令和５年３月期末	「あかね」発行費	3,050,399	印刷･丁合･製本代･発送料･取材費等
			総　会　費	1,683,296	総会・懇親会費（94名） 烏丸京都ホテルにて
入会金(R5年度卒業)	801,000	令和６年３月　卒業生267人	補　助　費	49,429	北海道・関東 各支部
			出　張　費	38,880	北海道・関東 各支部
			会　議　費	81,796	理事交歓会・常任理事会など
会費（既会員分）	4,476,500	1,015人	記 念 品 費	137,250	卒業生記念品、同窓会賞
うち 年度会費	1,160,000	580人	事務消耗品費	341,054	事務消耗品費・会費払込票印刷代など
前納（３年分）	940,500	171人 ｝1,015人	通　信　費	1,656,271	会費納入再依頼通信費・一般通信費
前納（５年分）	2,376,000	264人 ｝	人　件　費	2,548,920	アルバイト料（シフト勤務４人）
その他	0	0人 ｝	慶　弔　費	34,770	御供花・弔電
うち 一中 会費	71,500	20人 ｝	福利厚生費	8,973	事務室用茶葉・コーヒー代等
教職員会費	0	0人 ｝1,015人	水道光熱費	269,220	ガス・水道・電気代
洛北　会費	4,405,000	995人 ｝	支払手数料	278,471	あかね封入・仕訳作業・会費振込手数料他
			雑　　費	13,100	卒業アルバム代（高・中）
会費(R4年度卒業)	1,862,000	令和５年３月　卒業生　266人	旅費交通費	194,860	アルバイト交通費
			備　品　費	0	
会費(前受金勘定)	1,869,000	令和６年３月　卒業生　267人	諸　会　費	0	各地域会等会費
			保　守　料	454,190	新名簿管理システム保守料等
総会出席会費	658,000	総会・懇親会々費（94名） 烏丸京都ホテルにて	予　備　費	0	
広告掲載料	1,809,000	「あかね」広告代	会費(前受金勘定)	1,862,000	令和５年３月　卒業生　266人
寄　付　金	362,351	会員の皆さまからのご厚志等	周年記念事業へ	125,208	寄付者のご意思にて 記念事業へ
雑　収　入	50,214	京一中洛北クラブ他		0	
販　売　費	20,500	下鴨校舎史、徽章、レコード、カセットほか	支　出　計④	12,828,087	「あかね」発行費～周年記念事業へ　計
会計収入計　②	11,908,565	入会金～販売費　計	次年度繰越金⑤	10,424,651	＝③－④
収 入 合 計　③	23,252,738	＝①+②	支 出 合 計	23,252,738	

一般会計 現預金残高（R６・３・末 現在）		京一中150年・洛北高校70年記念事業 預金残高	
現　　金	73,090	現　　金	0
普 通 預 金	3,241,048	普 通 預 金	7,226,553
ゆうちょ銀行	7,110,513	定 期 預 金	0
合　　計⑤	10,424,651	合　　計	7,226,553

Ｒ５年度利息入金分

内（　7円）

内（103円）

資料提供のお願い

京一中・洛北高校OBの高齢化とともに、先輩諸氏が所蔵されている学生時代の貴重な資料の散逸、喪失が危惧されています。京一中・洛北高校の関連資料をお持ちの方は、ぜひ当同窓会へ寄贈いただきますようお願いいたします。とりわけ戦前・戦中の資料はほとんど残されておりません。

ご連絡・お問合せは同窓会事務局まで。（075－712-0375）

寄贈をお願いしたい資料

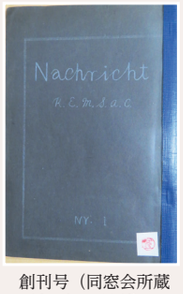
・京一中学友会誌　第1号～第5号（明治30年前後発行？）
・京一中・洛北高校に関する資料
（教科書・機関紙・アルバム・学生時代や旧校舎の写真、物品など）

☆昨年度は左記の方々に資料提供のご協力をいただきました。
ここに芳名を記載し御礼申し上げます。

【令和5年度 資料寄贈者芳名】

仲島　俊夫（仲島秀夫教諭）
久世みどり（京一中昭和22年卒 久世光男）
藤本　敬一（洛北5期）
丸山　克代（洛北8期）
近藤　浩平（洛北8期）
水田　幹子（洛北9期）
小田　幸子（洛北14期）
平山　三船（洛北14期）
鈴木　憲二（洛北16期）
河崎　啓一（洛北22期）
近藤千絵子（洛北26期）
大澤　広嗣（文化庁 宗務課）

～北山の会から～ 山岳部会報誌「Nachricht」第２号をご存じありませんか？



創刊号（同窓会所蔵 昭和8年10月刊）

「嶺　山岳写真　特輯號」巻末（同窓会所蔵　昭和9年10月刊）

京一中時代の大先輩達も発刊したかどうか記憶の薄れた、山岳部の会報誌「Nachricht」第2号（昭和9年刊）が存在していたことを証明する目次が、同窓会所蔵の「嶺 山岳写真 特輯號」巻末に掲載されていることがわかりました。 所在不明の第2号をご存じの方がおられましたら、北山の会または同窓会事務局までお知らせください。

北山の会　kitayamanokai2019@leto.eonet.ne.jp

山岳部部報「嶺」（昭和7年～昭和24年刊）全10巻は全て同窓会が所蔵

令和５年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）周年記念事業 会計報告書

収入の部			支出の部		
科　目	金　額	適　用	科　目	金　額	適　用
前年度繰越金①	9,814,661	令和５年３月期末			
寄　付　金	200,474	洛十会	新システム構築	2,911,700	システム更新費・ネットワークHP他
寄　付　金	125,208	一般会計寄付分振替			
			手　数　料	2,200	振込手数料
普通預金利息	7	普通預金利息（京銀）			
定期預金利息	103	定期預金利息（中信）			
収入小計②	325,792	寄付金～預金利息　計	支出小計④	2,913,900	新システム構築 ～ 手数料　計
			翌年度繰越金⑤	7,226,553	＝③－④
			前年対翌年繰越金差	△ 2,588,108	
収入合計③	10,140,453	＝①+②	支出合計	10,140,453	

科　目	金　額	金融機関
現　金	0	
普通預金	7,226,553	京都銀行
定期預金	0	京都中央信用金庫
合　計	7,226,553	翌年度繰越金　⑤

【令和5年度　寄付者芳名】

京一中

岩佐　氏昭（昭和19年入）
澁谷　盛興（昭和21入）
髙須　俊明（昭和21入）
畑中　良夫（昭和21入）
森田　昴（昭和21入）

洛北高校

浅野　茂（洛北2期）
（斉藤）肥後　栲子（洛北4期）
山本　勝久（洛北4期）
家　正治（洛北5期）
（荻野）加藤千恵子（洛北5期）
加藤　幹雄（洛北5期）
岡部平八郎（洛北6期）
（本浜）須田　和子（洛北6期）
（大塚）橋本　恵子（洛北7期）
後藤　美英（洛北7期）
（中野）村木　彰子（洛北7期）
松田　茂（洛北7期）
（正木）石崎由美子（洛北8期）
（庄山）八田　雅子（洛北9期）
故・原　忠誠（洛北9期）
櫻井　建（洛北10期）
（佐藤）廣田　量子（洛北10期）
澤野井公夫（洛北10期）
（増尾）武田　公子（洛北11期）
宮本　郁男（洛北12期）
（住山）大西　智江（洛北13期）
野村　春雄（洛北13期）
芦田　康夫（洛北16期）
中村邦比古（洛北16期）
（岡）髙原美和子（洛北17期）
野口　俊家（洛北18期）
松宮　繁治（洛北18期）
藤田　陽（洛北19期）
東　恵次（洛北20期）
長谷川洋二（洛北20期）
林　芳樹（洛北20期）
籠谷　正樹（洛北22期）
長尾　君枝（洛北22期）
中塚　潔（洛北22期）
八田　能直（洛北22期）
（山本）川口　孝子（洛北22期）
熊谷　聡（洛北23期）
（畠山）三宅　知子（洛北23期）
吉田　和弘（洛北23期）
増田　貴志（洛北24期）
細川　賢一（洛北26期）
1978年卒1975入学同窓会（洛北27期）
井関　文夫（洛北30期）
岩城　重次（洛北33期）
（小林）北出　祐子（洛北33期）
人見　文博（洛北38期）

☆「あかね」第62号への寄付者芳名

藤村　和正（洛北4期）
谷松　普史（洛北6期）
吉澤　俊二（洛北14期）

本部だより

新理事長 就任あいさつ

京一中洛北高校同窓会　理事長　山川富士夫(洛25)

令和６年度より本同窓会の理事長を務めさせていただくことになりました。まだまだ至らぬ点があろうかと思いますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて母校は、会員（洛北高校を卒業した時点より既に会員です）の皆さまが初めて自分の意志で進学した学校です。同級生と行く「修学旅行」、先輩や後輩と汗を流し勝敗に一喜一憂し涙した「部活」、学校がエンタテイメントになる「学園祭」や淡い恋愛など、まさに青春時代を過ごした母校と当同窓会を大切にしていただきたいと思います。旧校舎が懐かしい世代，新校舎で慣れ親しんだ世代、そんな違った世代が交流できるのが当同窓会です。皆さまで当同窓会をお支えくださいますよう，お願い申し上げます。

学年同窓会やクラス会をおこないたいと思った時には同窓会の事務局をのぞいてください。皆さまの連絡先を大切に保管させていただいております。できれば、一緒に当同窓会の運営にたずさわってほしいと思います。

結びに、会員の皆さまの益々のご健康とご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。

令和６年度　同窓会役員

会　　長	髙坂　節三	(洛北4期)
副 会 長	加藤　幹雄	(洛北5期)
同	横山　俊夫	(洛北15期)
理 事 長	山川富士夫	(洛北25期)
特別顧問	川口　浩文	(洛北高校校長)
常任理事	三輪　新造	(洛北11期)
同	蒋池　信男	(洛北19期)
同	谷口　幸伸	(洛北22期)
同	平塚　　泉	(洛北22期)
同	河原　敏明	(洛北23期)
同	西村　佳哲	(洛北27期)
同	倉部　京子	(洛北29期)
同	今西　拓人	(洛北33期)
同	鍛治　ちか	(洛北50期)
監　　事	河村　澄子	(洛北22期)

■令和６年定例理事会開催記録

3月定例理事会　3月23日(土)　午前10時　コモンホール
理事の退任と新任理事の選任、三島理事長の退任に伴う新理事長の選任、山川富士夫理事長の新任を承認、令和5年度決算予測、令和6年度予算概案、(事務局員の時給改定、宛名印刷機の更新、「あかね」第62号の頁数削減)、第71回総会開催確認、「あかね」第62号構成案・刊行スケジュール、同窓会に関する諸課題解決のための取り組み（名簿管理システム更新、会則等の見直し、会費徴収方法改革、学年会支援プロジェクト）など

6月定例理事会　6月22日(土)　午前10時　コモンホール
常任理事の退任（前三島理事長）、令和5年度決算報告、令和6年度予算案、第71回総会要項確認、同窓会会則の改定、就業規則に関する規定の改定、個人情報保護に関する規定の策定、ホームページ運用規定の策定、会費の改定、報告事項（「あかね」第62号の進捗・広告状況、同窓会名簿管理システムの更新、学年会支援プロジェクト）

臨時理事会　7月27日(土)　午前10時　TKP京都タワーホテル
6月理事会持越しの議案について(総会懇親会の会費補助、会則の改定、個人情報保護規定、会費改定など)

9月定例理事会　9月13日(金)　午後7時　さざんか亭六角店
（理事以外の参加者もまじえた交流の集い）（予定）

あかね第62号

令和６年９月25日発行
発行所　京一中洛北高校同窓会
〒606-0851
京都市左京区下鴨梅ノ木町59
京都府立洛北高等学校内
電話・FAX　075-712-0375
E-mail：dousoukai@kyo1c-rakuhoku.com
URL：https://kyo1c-rakuhoku.com
発行者　髙坂節三
印刷所　株式会社ティ・プラス　075-462-7889

【62号編集委員】
平塚泉（担当理事･洛22）遠山祥子（編集補助･洛20）蒋池信男（事務局長・洛19）八田香津子（洛19）堀江三枝子（洛23）常任理事会

母校とは言いますが、父校って言わないですね。日ごろから疑問に思っていました。ラテン語でも母校はアルママータ（alma mater＝恵みの母）です。温かく包み込む母のイメージで“母校”、いい響きですね。卒業して数十年、いつまでも母校を誇れる同窓生でありたいと思います。(MH)

真空蒸着箔・ホログラム・転写箔一般 総合メーカー

NIKKA TECHNO, INC.
株式会社 ニッカテクノ

本社工場
〒601-8177 京都市南区上鳥羽馬廻町1番地
電話(075)671-3344(代表)

吉祥院工場
〒601-8351 京都市南区吉祥院這登西町41番地
電話(075)671-0308

久御山工場
〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見86-1
電話(0774)44-3598

SHINWA INDUSTRY, INC.
親和産業株式会社

本　社
〒606-8152 京都市左京区一乗寺下り松町16番地
電話(075)781-9458

久御山工場
〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見90-2
電話(0774)43-6996

代表取締役会長 中山太一郎(洛北7回)

調剤薬剤師募集中！
在宅介護訪問も行っております

処方箋調剤・第一類 OTC 販売薬局

(株)フジタ薬局
代表取締役　藤田　哲（洛北 15 回卒）

高野店　京都市左京区高野西開町 55-2
TEL　712-7612　FAX　712-7624

小栗栖店 京都市伏見区小栗栖南後藤町 3-13
TEL　572-5570　FAX　572-3970

石田店　京都市伏見区石田森東町 3-10
TEL　571-1455　FAX　575-3813

社会福祉法人アスク こども育成会

R5.4.1 新規開園

アスク向日保育園
〒617-0001
向日市物集女町森ノ下 1-11
TEL:075-935-5533
※阪急京都洛
西口駅より徒歩 5 分

アスクあじま保育園
〒462-0013
名古屋市北区東味鋺
3-101-1
TEL:052-909-5711
※名鉄味鋺駅より徒 7 分

アスク西新井保育園
〒123-0841
足立区西新井 4-18-7
TEL:03-5647-8227
※日暮里・舎人ライン
谷在家駅より徒歩6分

アスク東谷保育園
〒463-0003
名古屋市守山区上志段味
青い掛 1326-2
TEL:052-739-7100
※JR 中央線
高蔵寺駅より徒歩 16 分

ひろた みみ はな のど くび 耳鼻咽喉科医院
HIROTA

院長　廣田隆一　廣田真理子（旧姓：小松・洛北40期卒）

ネット・電話で当日順番予約ができます（予約なしでも診察できます）
駐車場10台

診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30（土曜日は13:00まで）	●	●	●	—	●	●
午後 4:30～7:30	●	●	●	—	●	—

■耳鼻咽喉科用CT
■ハイビジョン NBI 喉頭内視鏡
■くびの超音波検査
■飲み込みの検査

山科区西野山中鳥井町 75-1

お問合せ　075-594-1133
予約専用電話　050-5577-7067
オンライン予約　ひろた耳鼻咽喉科 京都　検索
順番予約は、受診当日の朝7時より可能です

阪神高速「山科 I.C.」すぐ　京阪バス「大石神社」バス停下車すぐ
地下鉄東西線「椥辻(なぎつじ)」駅下車 西へ徒歩15分

耳鼻咽喉科 松岡医院

院長／松岡 秀樹 洛北10回

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	×	○	×	○	○
午後 4:30～ 7:00	○	×	○	×	○	×

左・田中西大久保町42
（東大路元田中上る100m・左京消防署南隣り）
☎781-2751

京都心理臨床研究所

元龍谷大学教授
臨床心理士
日本精神分析学会認定心理療法士

代表 **寺井 さち子**（洛北16期）
（旧姓 上野）

京都市下京区河原町通松原上ル
清水町454-1　林ビル506
TEL. 090-1969-2561
https://www.kyoto-shinri.com

こころの悩み、まずはご相談下さい。
家族や対人関係
不登校、ひきこもり
自分自身に関する悩み
育児の不安

下鴨神社崇敬会 理事

髙坂 節三

（洛北４期）

内科・消化器科・生活習慣病指導

三浦診療所

電話（075）781−2528　E-mail　fwga5847@nifty.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
一般診療（予約制、急患は随時受け付け）						
9：00 〜12：00	×	○	○	○	○	○
往　診（予約制、急患は随時受け付け）						

日・祝日　休診

京都市左京区
下鴨本町12
（洛北高校前交差点北東角）
1・2階

三浦　賢佑
（洛北９回卒）

京 宇治 白川などの厳選茶葉をはじめとする宇治茶を使用。
こだわりお濃茶たっぷりのラングドシャ「茶の菓」。

洋菓子　マールブランシュ
www.malebranche.co.jp

Duplo

from print to documents

当社は1950年の創業以来、オフィスにおける印刷から製本までのトータル・ソリューションをご提供し、プリントメディアの可能性を追求して参りました。これからもあらゆる分野で創業の原点に立ち返り、次の成長基盤の確立に向けて、さらなる組織力の向上に取り組み、常にお客様に対して付加価値の高いサービスをご提供できる企業を目指してまいります。

デュプロ株式会社　京都支店

住所：〒601-8108　京都市南区十条通旧千本角
TEL：075-662-3141　　FAX：075-662-3140

つくる　つたわる　つながる

T-PLUS

Webサイト制作、撮影、動画編集、ノベルティ、印刷、雑誌編集、発送代行、グラフィックデザイン、コピーライト、セールスプロモーション、ブランディング、デジタルマーケティング、イベント運営

株式会社ティ・プラス
〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16　TEL 075-462-7889　FAX 075-464-3923
E-mail : info@tplus-group.co.jp　https://tplus-group.co.jp

---

hand-made ママワーク

パジャマ＆インナー 製造販売

〒616-8208
京都市右京区宇多野福王子町 9-10
Tel／Fax:　(075)464-9688
URL:　http://www.mamawork.info/

ハンドメイドクラフト
ママワーク　宇多野店
右京区宇多野福王子交差点西へ 50m
Tel／Fax:　(075)464-9077

代表　三 島 康 之（洛 14 回生）

京都銀行で NISA（ニーサ）はじめませんか？

投信自動積立　毎月1,000円から積立できる♪

スマホで申込み OK！
京銀投信積立

京都銀行　下鴨支店 TEL.075(721)2211

京都高野竹屋郵便局

洛北高校27期卒業・西村佳哲
赤の宮神社さん前
〒606−8104
京都市左京区高野竹屋町31−2
075−781−9774

CDI

Communication Design Institute

京都市中京区巴町83番地
株式会社シィー・ディー・アイ
代表取締役　疋田 正博（洛12）
取　締　役　澤田 芳郎（洛22）

株式会社オーエムサービス

コマーシャル　人材派遣・業務委託
一般労働者派遣事業許可番号般13-011426
代表取締役会長　折戸　勝　洛北６回卒

〒101－0041
東京都千代田区神田須田町 1−5　村山ビル４F
TEL. 03−6262−9092　FAX. 03−6262−9068
〒222−0024
横浜市港北区篠原台町31−1
TEL. 045−431−0890　FAX. 045−431−0861

平塚泉土地家屋調査士事務所

平　塚　　泉（洛 22 回卒）

登録番号　京都 546 号　認定調査士　第 213004 号

〒604-0022
京都市中京区御池通室町西北角 ミサワ京都ビル７階
京都太陽合同事務所内
TEL（075）211−6000（代）　FAX（075）211−6120
E-mail：hiratsuka@taiyo-rna.jp
URL： http://www.taiyo-rna.jp/

京 悉 皆（きょう しっ かい）

久しぶりにタンスから出したキモノのアレコレ
留袖や喪服に白いカビが出ている
娘が私の振袖を着てくれるけど寸法は?
孫に息子・娘の初着を着せて宮参りしたい
草履の鼻緒が細くて痛い　　そんな時

株式会社　鶴屋　075-361-2653
大橋　晃（洛北28回卒）

京一中 150 周年・洛北高校 70 周年　祝歌

「はじまりの学舎（まなびや）」

作詞・作曲　原田　博行（洛北 35 期）

いってらっしゃいと背中を押されて　学舎（まなびや）をあとにした
18 の春に　描いた未来を　思い出すことができるかな

自由を胸に駆け抜けた日々　輝き続けてる

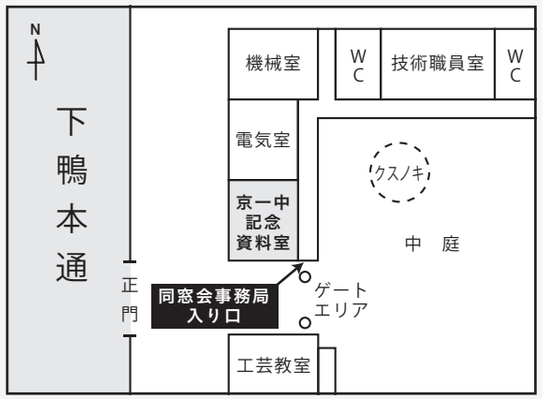
あかね色の空の下　同じ風に包まれた
時を超えて繋（つな）がろう　はじまりの学舎（まなびや）が
それぞれの今を　いつも　支えている

おかえりなさいと静かにたたずむ　学舎（まなびや）に元気をもらう
あの頃に戻り　笑いあえることを　いつだって思い出せるから

自由を胸に駆け抜けた日々　輝き続けてる

同じ教室に立って　同じグランドを走った
時を超えて繋（つな）がろう　はじまりの学舎（まなびや）が
それぞれの今を　いつも　支えている

＊音源はこちらから　https://kyo1c-rakuhoku.com/manabiya/



事務局スタッフ募集中!

母校同窓会のコミュニティづくりに参加しませんか?
（勤務時間10時〜16時、曜日その他はご相談）

ぜひ一度、お尋ねください。

TEL. 075-712-0375

dousoukai@kyo1c-rakuhoku.com

※母校卒業生に限ります

京都府立京都第一中学校校歌

作詞　有川　武彦
作曲　ヨーゼフ・F・ワーグナー
編曲　小宅　歓一

一
比叡の峰に　あかねさす
光栄の光を　仰ぎては
高き理想を　遠く馳せ
加茂の川瀬に　澄む月の
真如の影を　眺めては
清き心を　研くかな

二
今し角ぐむ　新草の
生々の気に　もゆる意気
声ものどけき　春鳥の
讃えて謳う　平和の譜
力あふるゝ　若き子の
学園は自由の※永久の幸

三
神楽が丘に　咲く花の※
匂う桜の　蔭にして
凝りし一中　魂の
高き頁を　繰り見れば
誇は残る　先人の
功に薫る　年代記

四
然あれ我等も　徒らに
去にし繁栄に　憧憬れて
行手忘るゝ　ものならじ
いよゝ歴史を　飾るべく
友よ健児よ　急ぎなむ
光の海に　帆を揚げて

※京一中創立50周年（大正九年）作詞当時の歌詞。二番は「学園は輝く」、三番は「神楽が丘の昔より」と歌われた時期があった。

洛北高等学校校歌

作詞　吉川幸次郎
作曲　芥川也寸志

一
千年の　森かげに
一頃の※　緑もえ
真理をおもう　ひとみいくばく
ここにむれ　ここにつどえば
めじとおく　くもはゆきかい
ふるきみやこの　北にして
あたらしきつち　ここにあり

二
片おかに　しぐれして
あめつちの　ひそまれば
げにしずかなる　学のよろこび
むねにみち　むねにあふれて
ささめくは　鴨のながれか
ふるきみやこの　北にして
あたらしきつち　ここにあり

三
うつくしき　世のために
まことある　世のために
たまきわるわが　いのちめでつつ
友とおり　友とうたえば
ゆたかなる　ゆくすえのゆめ
ふるきみやこの　北にして
あたらしきつち　ここにあり

※中国の土地面積の単位。100畝（ほ）約10,000㎡

患者本位の医療と介護

http://www.kaiseikai.or.jp

医療法人 回生会

理事長
出 射 靖 生（洛北13回卒）
〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1

京都回生病院

日本医療機能評価機構認定病院

京都 回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL(075)311-5121㈹ FAX(075)314-1843

- ●訪問看護ステーション かいせい
- ●京都回生病院 デイケアセンター
- ●在宅介護支援センター京都回生病院
- ●京都回生病院居宅介護支援事業所
- ●訪問リハビリテーション かいせい

ケアセンター回生

介護老人保健施設

ケアセンター回生

京都府向日市物集女町中海道19番地の5 〒617-0001
TEL(075)934-6888㈹ FAX(075)934-7513

- ●ケアセンター回生 デイケア
- ●訪問看護ステーション第二かいせい
- ●ケアセンター回生居宅介護支援事業所
- ●向日市北地域包括支援センター
- ●訪問看護ステーション第二かいせい かいで出張所

〒617-0004 京都府向日市鶏冠井町堀ノ内21番地の1 ハイコーポFUJITA 105号室 TEL (075) 950-0802 FAX (075) 950-0803

クリニック回生

クリニック回生

京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051
TEL(075)255-0253 FAX(075)255-0254

皮膚科／美容皮膚科／小児皮膚科／内科(金曜AM)／外科・整形外科(水曜PM)／リハビリテーション科

- ●訪問診療
- ●訪問リハビリテーション クリニック回生
- ●アンチエイジング リハビリテーション回生
- ●居宅介護支援事業所 クリニック回生

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人真生会 向日回生病院

〒617-0001 京都府向日市物集女町中海道92-12 TEL(075)934-6881㈹ FAX(075)933-9413

- ●訪問リハビリテーション向日かいせい
- ●サテライトステーション長岡

http://shinseikai.jpn.com

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目27 マンハイム長岡南棟301号 TEL&FAX(075)952-7317

設計 空間工房 青柳直樹（洛北13回卒） 医療法人 回生会 理事